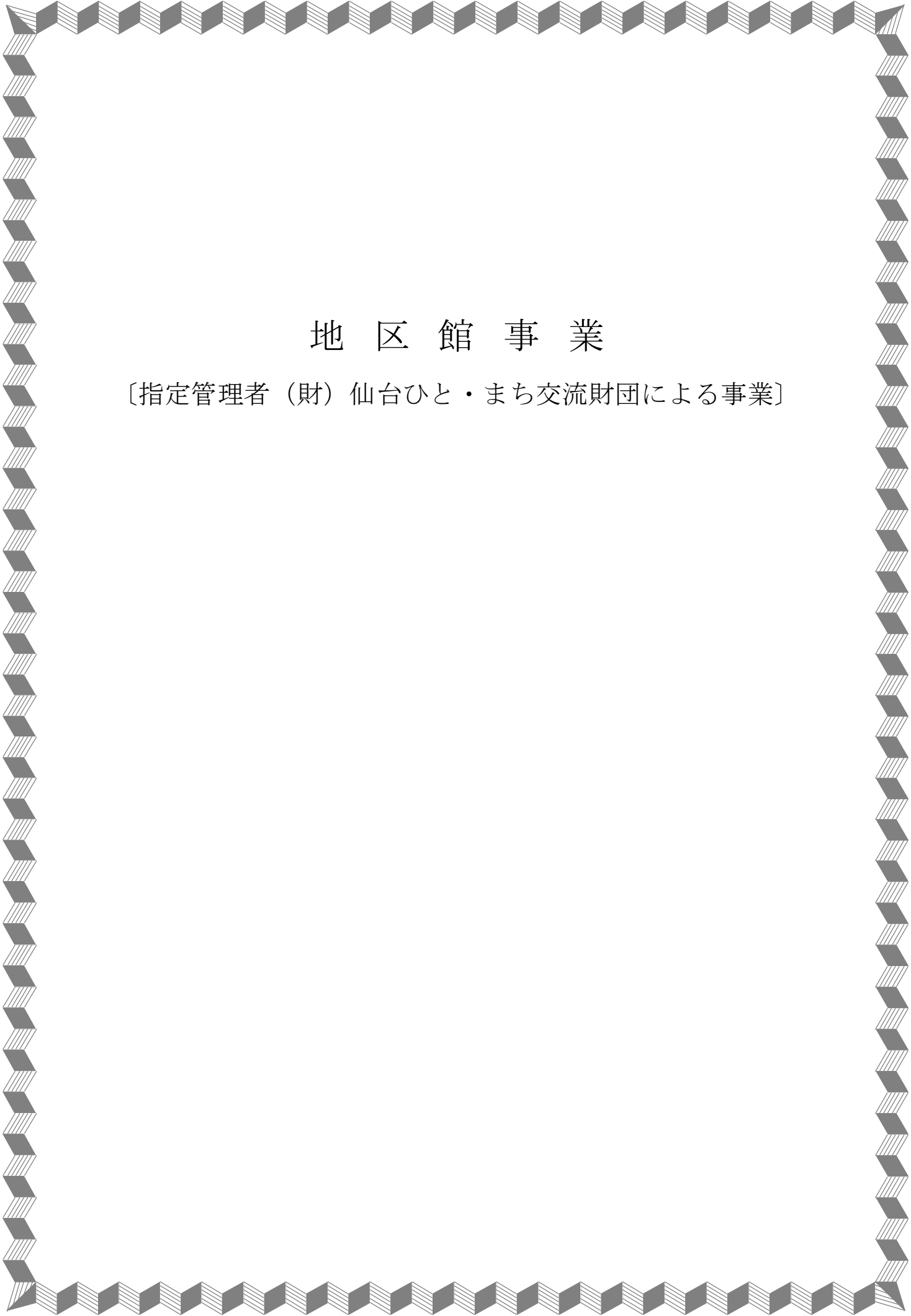




地 区 館 事 業

〔指定管理者（財）仙台ひと・まち交流財団による事業〕

1. 市民センター事業（地区館）の実施体制

仙台市の市民センター59 館は、管理運営を指定管理者である(財)仙台ひと・まち交流財団が行っている。また、地域における生涯学習事業についても各地区館の事業実施方針に沿って、それぞれ地域の状況や課題にあうさまざまな事業(地区館事業)を指定管理事業として年間を通じて実施している。

【平成 20 年度 事業区分別事業数（地区館事業）】

(※)2 つ以上の市民センター間で共催・連携した事業は1事業として計上

	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉 区	合 計
家庭教育推進事業	37	26	12	30	38	143
青少年健全育成事業	50	31	17	46	47	191
成人学習振興事業	61	40	26	49	61	237
高齢者学習振興事業	36	20	17	32	24	129
地域社会教育推進事業	125	56	51	97	98	427
民間指導者育成事業	66	30	32	59	44	231
学習情報提供・ 学習相談事業	94	49	33	61	73	310
合 計	469	252	188	374	385	1,668

2. 各市民センターの事業（地区館事業）

<青葉区(17 館)>

青葉区中央市民センター
 柏木市民センター
 広瀬市民センター
 宮城西市民センター
 北山市民センター
 福沢市民センター
 旭ヶ丘市民センター
 三本松市民センター
 片平市民センター
 大沢市民センター
 水の森市民センター
 貝ヶ森市民センター
 落合市民センター
 中山市民センター
 折立市民センター
 吉成市民センター
 木町通市民センター

<宮城野区(9 館)>

中央市民センター
 高砂市民センター
 岩切市民センター
 鶴ヶ谷市民センター
 榴ヶ岡市民センター
 東部市民センター
 幸町市民センター
 田子市民センター
 福室市民センター

<若林区(6 館)>

若林区中央市民センター
 七郷市民センター
 荒町市民センター
 六郷市民センター
 若林市民センター
 沖野市民センター

<太白区(14 館)>

太白区中央市民センター
 中田市民センター
 生出市民センター
 秋保市民センター
 馬場市民センター
 湯元市民センター
 西多賀市民センター
 八本松市民センター
 八木山市民センター
 山田市民センター
 茂庭台市民センター
 東中田市民センター
 柳生市民センター
 富沢市民センター

<泉 区(13 館)>

泉区中央市民センター
 根白石市民センター
 南光台市民センター
 黒松市民センター
 将監市民センター
 加茂市民センター
 高森市民センター
 松陵市民センター
 寺岡市民センター
 長命ヶ丘市民センター
 松森市民センター
 桂市民センター
 南中山市民センター

青葉区中央市民センター

沿 革

昭和 61 年の市立東二番丁小学校の全面改築に伴い「仙台市市民教養センター」が廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」が開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスピア一番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、新しく「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心地域で交通の利便性が高い立地から、若い世代の利用率も高い。外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一役を担っている。

平成 20 年度事業実施方針

①体験学習活動を取り入れたプログラムや、管内の小中学校との連携による家庭教育・青少年育成事業の推進、②幅広く市民が交流できる事業や市民企画事業など、市民協働・参画事業の推進、③夜間講座や託児付講座、手話・要約筆記講座等の充実による学習のバリアフリーの推進などを重点施策と位置づけ、生涯学習事業の推進に努める。

特色ある事業

＜青葉区検定クイズを作ろう＞

① ねらい

これまでの事業で集積された情報や人材を活用し、知っているようで知らなかった青葉区中心部の歴史やこぼれ話を盛り込んだクイズを作ってクイズラリーを企画することで、地域コミュニティの再生を目指す。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 11 回 / 165 人

④ 概要

はじめに雑誌「仙台学」編集長による「青葉区中心部の歴史や変遷について」の講話、2 回目以降はクイズ作成講師から「クイズづくり」についてのアドバイスを受けながらグループに分かれ図書館や商店街に出向き問題作成に取り組んだ。30 問のクイズは冊子にまとめられ、市民企画講座として 8 月 30 日、16 人の参加を得クイズラリーが実施された。

＜子ども広場・サイエンスフェスティバル＞

① ねらい

生活に密着した「科学」に楽しく触れる場を設け、科学に関わっている人々とふれあうことで、自分の世界を広げる一助とする。子ども広場ボランティアと活動を共有することで、世代間交流の場とする。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 103 人

④ 概要

秋休み対応事業としたこの講座は、2 回の打ち合わせを経て、中学校・高等学校・大学等、6 団体が各ブースごとに実験、展示、体験をとおし、科学の不思議・楽しさを伝えた。また、団体間の交流が生まれたことで、活動に生かせる意欲の向上に繋がった。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	5	8	0	6	7	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/aochu/index.html>

柏木市民センター

沿 革

当市民センターは昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成 2 年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては収納式のステージを持つ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

平成 20 年度事業実施方針

当センターの利用状況は近隣の地域住民を中心に生涯学習の場として定着してきた。開館以来センターの運営については、地域住民と共に歩むことをモットーに「センター・地域・学校」が一体となって取り組んできた。今後更に事業内容を充実させるべく、地域住民の意見を充分反映し今日的課題になっている地域コミュニティの再生に向けた事業に取り組んでいく。又、近隣市民センターとも連携を図り地域特性を生かした特色ある事業に取り組んでいく。

特色ある事業

<地域発信「柏木界限物語」>

① ねらい

歴史的なもの、現在、これからの柏木地区を盛り込んだ地域誌『柏木界限物語』を活用し、より若い世代に語り継ぐことで地域に対する理解と関心を促すと共に、地域誌『柏木界限物語』編集委員が学んだ成果を発表する場を提供する。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 185 人

④ 概要

地域誌『柏木界限物語』を活用して街を元気にする会と共催して、地域の資源や歴史を学んだ。

<三条中学校 学社連携事業>

① ねらい

中学校と連携し、学校教育及び地域の生涯学習の推進を図る。また、地域に根ざす市民センター作りをすすめることを目的とする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 7 回 / 46 人

④ 概要

中学生と一緒に選択授業を各コースに分かれて受講。文化祭や運動会、北山五山清掃にも参加。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	3	3	2	6	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kasiwagi/index.html>

北山市民センター

沿 革

社会福祉活動の場がほしいという地域住民の願いが叶い、北山福祉会館が設置されたのが昭和 49 年 7 月である。(所管は仙台社会福祉協議会)。平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」に、平成 2 年には「北山市民センター」と名称を改め、地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしている。

地域内には、青葉神社や大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館があるため若者や外国人が多く福祉や国際理解への関心が高い。

平成 20 年度事業実施方針

地域コミュニティの醸成を目的に、地域との関係を深め、かつ開かれた市民センターを目指し、地域住民本位の事業の展開と交流、ネットワークづくりの拠点として、ボランティア育成や地域人材の発掘を通して地域情報の拠点を図ると共に、育児世代・青少年世代・壮年世代・高齢世代の地域連携・協働による事業実施に努める。

特色ある事業

＜北山歴史ガイドボランティア養成講座Ⅱ＞

① ねらい

北山地域の文化財を次世代に伝え保存する地域ボランティアの養成を図り、団塊世代の生き方の選択肢に繋げる。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 74 人

④ 概要

講話「発見！北山付木」で知識のスキルアップを計り、ガイド資料を基に北山五山と、その周辺の歴史を学習。三条中学校連携事業や他市民センターの依頼でお寺のガイド実習を行った。

＜市民企画「コンサート企画し隊」＞

① ねらい

市民が自発的に企画を立案・運営する事により、自ら学び考える力を養い、それを地域社会に還元しようとする意識を芽生えさせる。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 12 回 / 41 人

④ 概要

コンサート開催に向けて内容や構成などを立案し、出演者交渉や当日の会場運営まで担当した。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	2	3	8	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kitayama/index.html>

福沢市民センター

沿 革

昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し「福沢公民館」として開館し、その後平成 2 年 4 月に「仙台市福沢市民センター」と名称を改めた。平成 20 年 6 月より平成 20 年 12 月迄内外装改修で閉館したが、平成 21 年 1 月 14 日にリニューアルオープンをした。

当センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として昔の雰囲気や今に留めており、下町情緒に溢れた古い歴史の地域となっている。反面、仙台中心部より近いこともあり、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域となっている。このような中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

平成 20 年度事業実施方針

「生涯学習を通じた地域づくり」を目標に地域住民・町内会・諸団体・小中学校との連携を推進強化する。さらに、地域住民との密接なるコンタクトを図り、地域のニーズを積極的かつ的確に把握して、地域人材の発掘・活用・育成を図り多様な学習ニーズに即応した事業を展開することで、地域住民の参画・協働を促進し、地域全体の連携強化・活性化に寄与する。

特色ある事業

<福沢サロン>

① ねらい

地域の資源（人材・環境・歴史）を活用し、地域に伝わる伝統や行事及び活動を体験しながら、地域の新たな魅力を再発見する機会とする。また、伝統を大切する心を養い、継承することの大切さを学ぶ。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 67 人

④ 概要

前半の 2 回は、宮町七夕及び首振り張子の伝統を学びながら、折り紙で色紙の七夕づくりと平成 21 年の干支を張子で作成した。後半の 2 回は地元の人材との連携で豆腐づくりと豆腐本来の味を楽しめる料理を学んだ。

<おいしく食べよう絵本の秘密>

① ねらい

本の楽しさを読書という形にとらわれず、体感（作る・触る）することで、作者の想いをふくらませ、本を通して想像力や独創力を育む。また、親子で参加する事で家庭での読書への理解促進の一助とする。

② 対象 小学校低学年までの親子

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 49 人

④ 概要

絵本の読み聞かせを通して、絵本に出てくる料理のイメージをふくらませながら、親子でその料理を作ることで本への関心を高めた。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	3	4	2	6	4	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen//WebPages/fukuzawa/index.html>

旭ヶ丘市民センター

沿 革

当市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として、昭和60年6月に建設された旭ヶ丘バス乗り継ぎターミナルとの複合施設として開館した。青葉区のみならず周辺地域へのアクセス拠点としての役割を担う地域へと変貌を遂げた。当市民センターは地域内にとどまらず広いエリアの市民が、様々な学習活動に利用している。また、近隣には青年文化センターや科学館があり、仙台市の文化学術エリアとなっている。旭ヶ丘駅の西側には台原森林公園が広がり、四季折々の草花が咲き乱れるなど自然環境にも恵まれ、多くの市民の憩いの場として愛されている。このように恵まれた場所に位置していることを踏まえ、地域性を活かし、かつ全市を視野に入れた事業展開を推進し、多様な市民のニーズに対応する生涯学習の場を提供していく。

平成20年度事業実施方針

- ・地域性や社会の変化に応じ、適切な要望を取り入れ自発的に学習できるよう事業を展開する。
- ・市民の主体的な学習を支援し、サークルや地域等の人材・学習機会の提供を行う。
- ・市民が学んだ成果を地域で有効に利用できるよう、支援する共に、指導者の育成に努める。
- ・地域の人材活用の機会を広げると同時に学びのコミュニティの形成を図る。
- ・自己学習の推進と学習のバリアフリーに努める。

特色ある事業

<高校生川柳選手権>

① ねらい

高校生ならではの感性を発揮し、日常生活等を題材にしながら言語に親しみ、自己表現能力を養う。また、川柳作りを通して他校の生徒と交流する機会を提供する。

② 対象 高校生

③ コマ数、参加延べ人数 2回 / 9人

④ 概要

携帯電話やPCを応募ツールとして、高校生から川柳を募集した。高校生に馴染みのあるキャラクターが選者となり、優秀賞やその他の各賞を選定した。発表交流会は高校生が進行し、お互いの交流を図ることができた。

<始めてのお仕事>

① ねらい

商業施設の内部を見学・体験し社会のしくみにふれる機会を提供する。またその体験を踏まえ起業体験をし、社会性の向上と自主自立を促進する。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 30人

④ 概要

商業施設のバックヤードを見学し、流通等の話を聞いた後、自分達の「店」を開店する準備を進めた。実際に開店させ、「店」を運営することで、流通のしくみを体験することができた。売り上げは精算の後、給料として分配し、その一部は寄付した。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	6	3	4	10	3	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/asahigaoka/index.html>

三本松市民センター

沿 革

当市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には雑木林が残されているなど環境に恵まれている。堤町は、現在は窯の火は消えたが、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和62年4月14日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(45台) 舞台付で約50畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート1面、バレーボールコート2面、卓球台12台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

平成20年度事業実施方針

地域のコミュニティづくりを目標に、家庭教育事業、青少年や成人・高齢者を対象とする事業、学校や地域との連携を図る事業などを、地域のニーズと特性・課題を踏まえつつ実施する。

市民が主体的に学び、その成果を地域に生かし、活動を広げることができる機会を創出することにより、地域の交流促進や活性化につなげる。また、日常的に市民の意見、要望の収集・分析に努め、生涯学習の充実を図る。

特色ある事業

<図書まつり>

① ねらい

活字離れが進む今日、広く図書室を開放し、誰もが本に親しむ機会を設けるとともに、地域の認知度が低い図書室を紹介することにより、利用者の増加を図り活性化を促す。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6回 / 339人

④ 概要

連続6日間、図書室を開放し、貸出しや蔵書リスト配布・クイズ・本の骨董市・ライアーと昔話・紙芝居・講話など様々な催しを行った。初めて図書室を知った方も多く、新規貸出登録やボランティアの加入など利用の拡大につながり関心の高さが伺えた。また多くの貴重な意見は、今後の魅力ある図書室作りの参考となった。

<シニアパソコン入門講座>

① ねらい

シニア世代にパソコン技術の習得の機会を提供するとともに、台原小児童をアシスタントとすることによって、普段交流の少ない小学生と高齢者とのふれあいを図る。

② 対象 50歳以上のパソコン初心者

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 35人

④ 概要

初めてパソコンに触れる50歳以上の方を対象にしたパソコン基礎講座。3回にわたり文字入力、写真の取り込みと編集を学び、カレンダー作りを行った。習得した技術を向上させたいと、講座終了後サークルとして活動している。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	6	3	3	8	3	7

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/sanbonmatsu/index.html>

片平市民センター

沿 革

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形や、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こういった地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

平成 20 年度事業実施方針

「仙台の魅力」を市民が体験しながら学習し、地域コミュニティの再生と自己実現を目指した主体的な学習が出来るような事業を展開し、さらに広い地域のネットワークづくりに取り組む。

特色ある事業

<「まちなか農園藤坂」連携事業 まちづくり実践ファーム>

① ねらい

地区内にある「まちなか農園」をステージとして農を内容とした講座を提供し、地域や家庭で食育に取り組む契機とする。また地域の人たちが農作業や作物の加工などをしながら、住民が集い交流できる機会を提供する。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 10 回 / 108 人

④ 概要

大豆、ラデッシュの栽培、豆腐作り

小牛田農林高等学校訪問、講話「仙台七夕の由来」

<地域学のすすめ～まち歩きから見えてくるもの>

① ねらい

自分達の居住地域について見直す機会を提供し、共通の認識を培いながら交流を通して地域の歴史を考える。また青葉区まちづくり推進課事業「片平地区平成風土記作成委員会」とのセッションの場を通し、地域の歴史を伝える手法についても考える。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 54 人

④ 概要

地域コミュニティへの参加を促進させる為の地域理解のための探訪と講話

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	2	1	8	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/katahira/index.html>

水の森市民センター

沿 革

当センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている水の森公園の南口に立地し、自然保養林を背にした高台にあり自然環境に恵まれている。管内は水の森、東勝山、桜ヶ丘、川平等の閑静な住宅地を擁しているが、初期に開発された住宅団地のため、高齢化率の高い地域である。平成2年9月に市民センター・児童館・温水プール・防災コミュニティセンターの複合施設としてオープンした。斬新な外観は地域のランドマークとして親しまれ、複合施設の強みで、一年を通して利用者が訪れる地域の生涯学習の拠点的存在である。2階の広いメインホールは、地域住民のの情報交換や憩いの場として高齢者から幼児までいつでも賑わいをみせている。

平成20年度事業実施方針

地域の特性や、水の森ならではの強みを存分に生かした事業の展開に努め、地域の生涯学習の拠点として多様な情報を発信していきたい。地域の町内会、各種団体や学校等と更なる連携強化を図り、地域の活力あるまちづくり運動にも積極的にかかわりを持っていく。新たに団塊世代前後の利用者の来訪を促進し、次世代のリーダーを育てる講座等も用意したい。

特色ある事業

<男の井戸端会議>

① ねらい

今まで市民センターとは縁の少なかった団塊世代前後の方々に市民センターを知ってもらい地域デビューする機会を提供する。同時に地域のオピニオンリーダーとして活躍できる人材を育成する目的で講座の企画運営を体験してもらう。

② 対象 団塊世代前後の方々

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 36人

④ 概要

団塊世代前後の方に市民センターの役割や在り方を考えてもらい、講座の企画・広報・集客等について工夫しながら、地域の学習資源の活用、利用者の拡大を目的とした「市民企画講座」を実施した。これを機に市民センターの事業をサポートするグループ『プロジェクトM』が結成された。

<笑顔のママって大好き！>

① ねらい

孤立しない子育てを提案し、子育ての悩みを共有し解決策を見いだす。さらには、積極的に地域で活躍できる人材を育成する。センター育成の子育て支援サークル「にこママ研究所」に講座の運営に携わってもらい、企画の連携も行う。

② 対象 子育て中の方・その家族

③ コマ数、参加延べ人数 6回 / 151人

④ 概要

託児付き講座の要望は非常に大きい。6回講座のうち2回を「にこママ研究所」の企画で全体の運営も担当してもらった。それぞれ充実した内容で、受講生間の交流も深まり、「にこママ研究所」のメンバーも増えた。孤立しない子育ての提案というテーマが深まりをみせた。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	3	2	10	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/mizunomori/index.html>

貝ヶ森市民センター

沿 革

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された当市民センターは、平成5年4月に児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあつて、その瀟洒な建物は隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

また、風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などにも恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

平成20年度事業実施方針

少子高齢化や核家族化、住民の入れ替わりなどに対応した地域コミュニティづくりを支援し、仙台市市民センター運営方針に基づき次の事業を重点的に行う。

- 1 地域や学校・児童館との連携を図る事業
- 2 学んだことを地域社会に生かすことができる事業
- 3 市民参画を推進する事業
- 4 子育て支援事業

特色ある事業

<豆まき会>

① ねらい

地域の子どもからお年寄りまで幅広い世代が、昔から伝わっている遊びや伝統行事の節分を楽しむことにより、これを次世代に継承していくとともに、世代間の交流を図る。

② 対象 幼児～大人(幼児・小学生は保護者同伴)

③ コマ数、参加延べ人数 1回/136人

④ 概要

1/31 オープニング「南京玉すだれ」

第一部「コーナーあそび」 第二部「豆まき」「福まき」

<備えて安心！身近な安全！>

① ねらい

貝ヶ森地区連合町内会と連携し、将来必ずやってくるであろう震災の被害を減らすための、身近な対策を見直す。また、救急救命講習を通して、人命救助の方法を学ぶ。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 3回/45人

④ 概要

9/13 家具転倒防止具、非常備蓄食、アイデアグッズなどの紹介

10/4 東北福祉大学ボランティアサークル FAST 指導による救急救命講習

10/18 貝ヶ森中央公園における地域の防災訓練に参加

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	2	3	3	9	3	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kaigamori/index.html>

中山市民センター

沿 革

当市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成7年4月に児童館を併設して開館した。中山地区でも国見ヶ丘地区に近い閑静な住宅地に位置し、また、月急山公園と隣接しており、自然環境に恵まれている。

中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが立ち並び、新しい町並みを形成している。長い坂道のあるこの街は、両側にたくさんの商店が並び活力でいっぱい。また、近くには福祉施設「せんだんの杜」、「せんだんの里」等福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲が高い地域になっている。

平成20年度事業実施方針

平成20年度は、前年度に引き続き、心豊かな地域づくり、知縁づくりに向けて参画型の学習推進と地域コミュニティを推進する。①市民センター事業と地域事業との連携を密に図り、学習機会や情報提供に努める。②学校外活動を充実し、児童生徒の健やかな心身の健康づくりにする。③芸術、文化の創造と発展をはかるため、各サークル活動の活性化支援に努める。④様々な施設や期間との繋がりを大切に、人と人との関係など「知縁」づくりを重視した事業を推進する。

特色ある事業

<わくわくドキドキッズ>

① ねらい

長期休暇や土日などに小学生向けの事業を展開し、児童館とは異なった内容、時間帯の講座を持つことで、市民センター理解と利用増を促す。学校では出来ないモノ作りや遊びの体験を通して子ども達の自主性や理解力を養う。JLの活用。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 236人

④ 概要

まんがとアニメ、巨大アート、ネイチャークラフト、ネイチャーゲーム、ダンボール迷路、卓球、ジュニアリーダーと遊ぼう

<伝統食・行事食から学ぶ食育>

① ねらい

ファーストフードに依存しがちな子育て世代に、伝統食・行事食の学習を通じて健全で安心できる食生活を送るための学習機会を提供する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 5回 / 90人

④ 概要

おくずかけ・ずんだ餅、さつま芋御飯・栗だんご、仙台雑煮・伊達巻、さくら餅・しっとりクレープ

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	5	5	2	7	2	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nakayama/index.html>

折立市民センター

沿 革

当市民センターは、仙台市中心部から西方約 5 kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開け、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。平成 7 年 5 月 30 日に市内 50 番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

施設の特徴としては、可動式のステージと大型暖房機が備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた 49 畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

平成 20 年度事業実施方針

1. 地域活性化のために学校や地域との連携を深める事業の展開や、リーダー育成、地域の人材を活用する事業を積極的に推進する。
2. 市民企画講座や地域住民と懇談会を実施し地域の課題、ニーズを探り事業の充実を図る。
3. 家庭教育や環境、防災など現代的課題に対応した事業を推進する。
4. 学習情報の提供、学習相談事業の充実を図る。

特色ある事業

<みんなでつくろう！私たちの紙芝居>

① ねらい

自然豊かな折立地域に伝わる昔話や語りを聴き、また情報を集めたりしながら地域独自の独創性あふれる紙芝居を作り、先人から受け継ぐ文化の伝承を目指す。作成過程において地域を見直すと共に地域への愛着を深める。

② 対象 中学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 10 回 / 51 人

④ 概要

地域に伝わる昔話や語りを地域住民から聴き、情報を収集し、紙芝居の題材を決めた。情報を整理し計画を立てストーリーを決め、紙芝居の作り方の手法を学習しながら実際に紙芝居の製作を行った。地域や児童館等で上演を行い活用された。

<折立子ども囲碁クラブ>

① ねらい

子どもたちの休日を有効に安全に過ごす機会と場所を提供する。地域の囲碁愛好家や市民センター利用サークルのメンバーが講師となり、世代間交流を図りながら、地域全体で子どもを育み見守る。

② 対象 小学生 4 年生以上

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 43 人

④ 概要

月 2 回程度、囲碁の初歩的な学習を地域の講師から指導してもらい、ゲーム等もしながら楽しく交流した。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	3	3	3	7	4	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/oritate/index.html>

広瀬市民センター

沿 革

当市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音を初めとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和 24 年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和 62 年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台宮城市民センターと改称、平成 3 年 6 月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の庁舎に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

平成 20 年度事業実施方針

1. 地域住民のニーズやライフステージに応じた課題や社会問題などを取り上げ講座に反映する。
2. 生涯学習情報や地域情報を収集し、館内掲示や市民センターだよりで情報提供を図る。
3. 民間指導者や育成団体を支援し、学習成果を地域に活かす人材の育成につとめる。
4. 地域の豊かな自然や豊富な人材を活用し、地域交流を拡大充実させる事業展開をする。
5. 講座受講生、地域の個人、団体からのニーズを把握し、事業内容の充実向上に結びつける。

特色ある事業

<読み聞かせミニコンサート>

① ねらい

親子や保育所の子ども達が音楽といっしょに読み聞かせコンサートを体験することにより、自由に想像の翼を広げ読書と音楽の楽しさを知り、読書活動のきっかけとする。また親子が本を通して同じ世界を共有することによりコミュニケーションを深める。

② 対象 地域の親子またはどなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 348 人

④ 概要

地域で活動している読み聞かせボランティアや音楽サークルの方々に出演してもらい、音楽といっしょに読み聞かせのコンサートを開催した。

子ども達が長い時間にも関わらず身を乗り出してお話に聞き入っていた。

<みんなで子育て 子愛ネット>

① ねらい

子育てに対する重圧感を軽減し、楽しみながら子育てができるような母親同士の関係を築くように、地域の子育て支援団体と共に支援していく。また子育て支援団体が協力していく横の繋がりが強化する。

② 対象 1 歳～4 歳児の親子

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 142 人

④ 概要

地域の児童館・保育所・託児ボランティア・社会福祉センター・家庭健康課と連携して、保育所訪問や親子遊び・母親のリフレッシュのためのフラや茶話会を実施。育児サークルへと発展した。最終回のしつけについての講話は土曜日に公開講座として実施し、多くの父親や平日働いている母親も参加した。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	2	2	1	13	5	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/hirose/index.html>

宮城西市民センター

沿 革

昭和 52 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

平成 20 年度事業実施方針

地域特性を活かした事業、さらに活性化・地域交流を図るため、恵まれた自然と豊かな人材活用と体験学習を多く取り入れた事業を展開する。また学んだ成果を地域に還元し、地域間連携を深めるなど市民の学習意欲と参加意欲を促す事に繋げる。そしてさまざまな情報を発信し地域への関心を高め、課題に対応した事業と人材発掘・地域ネットワークづくりに重点をおいた事業に取り組む。

特色ある事業

<山の幸講座>

① ねらい

地域住民が所有している里山をまるごと提供してもらい、地域の産物を採取体験する事で、なかなか味わえない自然の恵みと、地域講師から、日常生活で得た知恵を伝授してもらいながら地域交流を図る。

対象 成人 20 人

② コマ数、参加延べ人数

3 回 / 66 人

③ 概要

大倉にある里山で春の味覚「山菜」や、秋の味覚などの採取を行う。採取後灰汁の抜き方や調理法など講師から体験話を聞く。また季節感のある材料を使いさまざまな調理の工夫を実習する。

<出前講座―倉内・西川前・大倉・作並・新川―>

① ねらい

宮城西地域で交通機関に恵まれない地域住民に、生涯学習活動の振興と生活文化の向上を図るため、市民センターから出向いて学習の場を広げる。

② 対象 地域住民(成人・高齢者)

③ コマ数、参加延べ人数

8 回 / 161 人

④ 概要

出前講座希望地域が市民センターと協議し、会場設定、講座準備、参加者募集までを担いながら学習する。主に健康、食生活改善、生活文化の向上に関する事など。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	5	8	2	6	2	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/miyaginisi/index.html>

大沢市民センター

沿 革

当センターは青葉区西北部に位置し、田園地帯や緑多い丘陵地帯など閑静な自然環境の中、平成2年5月、大沢市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設し開館した。

当地域は、古い史跡が点在する歴史ある地域でもあり、古くからの村落と新興団地等の開発による若い世帯の増加が見られる中、さらに発展しようとしている。このような地域背景を下にその特性を生かし、地域住民の活動・交流の拠点として、社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

平成20年度事業実施方針

地域力向上に主眼を置き、地域住民との協働の強化に努めると共に、地域づくりの拠点施設として地域ニーズを反映した人づくりにつながる生涯学習事業の充実と、幅広い年齢層に利用される地域に密着した開かれた市民センターの実現を目指す。

特色ある事業

＜大沢地区地域防災安心ネット＞

① ねらい

地域の町内会や小中学校等の各関係機関が、災害発生時に正確な情報を共有し地域住民の避難等速やかな対応や被害を最小限に防ぐ方法等を共に考え、地域の防災対策の整備実現を目指す。

② 対象 地域の方

③ コマ数、参加延べ人数 10回 / 236人

④ 概要

地域の防災についての意見交換や、各町内会の防災の取り組み等について情報交換をすると共に、アルミ缶を利用したサバ飯作り体験の開催。宮城消防署共催でDIGワークショップを開催し、自分達の住む町の防災環境について学習。

＜市民企画会～大沢畑で地域力UP＞

① ねらい

野菜づくりを継続して学んだ市民が企画員となり、野菜を通じた交流イベントや学びの講座を通し、地域交流の輪を広め、地域活動の活性化を生み出すことを目的とする。

② 対象 大沢やさい塾受講生

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 108人

④ 概要

生涯学習として手軽に取り組める野菜作りや、仲間作りの楽しさをまとめた冊子を作成し地域へ情報発信。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	3	2	2	8	3	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/osawa/index.html>

落合市民センター

沿 革

当センターは、JR陸前落合駅前近くにあり、南には緑豊かな蕃山を望み、北に清流広瀬川が流れる、自然豊かな落合・栗生地区のほぼ中央に位置し、平成6年4月にコミュニティ防災センターを併設して開館した。当地区は、近年住宅団地造成や区画整理など宅地化が進み、年々その姿を変え人口も増え、特に若い世帯が増加している。

施設の特徴としては、可動式ステージと大型暖房機を備えた多目的ホールと和室2部屋、会議室兼調理実習室、図書室、親子室、娯楽室があり、地域住民の生涯学習の場となっている。

平成20年度事業実施方針

①地域住民の生涯学習拠点の場として学習ニーズを把握し、学びを通じて人のつながりを強める。②地域の小・中・高校生の育成の場を創造する。③「蕃山」周辺の歴史・自然・行事等の事業を継続的に取り組むとともに、多くの住民が地域と関わることができるよう働きかける。④市民センターだより・ホームページの充実を図りPRし、地域住民が気軽に楽しく参加できるよう努める。⑤職員は、創意工夫を行い、自己啓発・自己研究に努め市民の求める方向性を見定める。

特色ある事業

<三館連携事業市民企画講座「蕃山を知ろう！」>

① ねらい

折立・落合・広瀬地域の身近な山「蕃山」の魅力を再発掘しながら、地域住民とともに共有し、その魅力をいかにして後世の人たちに伝え残していくかを考えながら、ふるさとの山に対しての愛着を深める。

② 対象 地域の方

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 186 人

④ 概要

館外学習での蕃山散策や撮影した蕃山の写真展、公開講座でのシンポジウムやみやぎ龍神太鼓演技団による絵巻物の披露や演技で、蕃山の魅力を次世代に伝えることを目的とする蕃山自然観察の自主サークルが立ち上がった。

<落合・栗生「郷土の歴史マップ」づくり>

① ねらい

地域の特性であり、歴史的価値のある遺跡・史跡を、多くの地域住民に周知し、次世代に伝え活用する「マップ」を作成する事により、地域づくりの活性化を図る。

② 対象 企画員と地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 17 回 / 109 人

④ 概要

現地調査や地域の方からの聞き取り、写真撮影をはじめ、説明文の検討、地図の作成、レイアウト、印刷等企画員主導で「いにしへの里 五郎八姫ゆかりの栗生・落合散歩マップ」が完成した。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	6	3	3	5	4	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/ochiai/index.html>

吉成市民センター

沿 革

平成8年4月国見ヶ丘2丁目地内に市内51番目の市民センターとして児童館及びコミュニティ防災センターを併設してオープンした。吉成地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。当センターは吉成学区と南吉成学区の2連合町内会を管轄しており、吉成学区は、7町内会8,877人、南吉成学区は、6町内会9,313人、総世帯数6,765世帯となっている。現在南吉成学区を中心に人口も増大の傾向にあり、当市民センターの平成20年度利用者は、年間64,287人、利用件数2,170件と、地域における生涯学習の拠点となっている。

平成20年度事業実施方針

市民センターの活動をととして、地域の諸団体や、組織の連携活動の支援をする。
生涯学習を通じて立ち上げられたボランティア団体の活動の場づくりの支援をする。
地域の自然環境保全とその有効活用についての取り組みをする。
懇談会、団体交流会、市民企画などをととして地域課題や、ニーズを積極的に把握する。
地域の課題である防災、高齢者福祉、子育て支援について取り組む。

特色ある事業

<みんなでコンサート>

① ねらい

地域在住の音楽家の演奏と、地域の小中学校の吹奏楽部の子ども達と福祉大吹奏楽部の学生と合同演奏会をすることにより、地域住民の地域への愛着や、世代間交流を深めることとする。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 2回/375人

④ 概要

1回目 夏終わりのコンサートとして8月下旬に夜間講座として地域在住のピアニストによる演奏会を実施。

2回目 1部はバイオリン演奏会、2部は地域の小中学校吹奏楽部と福祉大吹奏楽部合同のビッグバンドの演奏会。

<市民企画講座 子どもと歌のボランティア>

① ねらい

乳幼児を育てながらも地域に貢献できることを市民企画で考え、子育ての仲間作りと社会参加の喜びを経験する。

② 対象・乳幼児を育てている母親と子ども

③ コマ数、参加延べ人数 6回/57人

④ 概要

地域の老健施設に手作りのおみやげを持参し、子どもも連れて出向き、歌を歌って慰問する。1～3回目、歌の練習。4,5回目手作りの折鶴ストラップ作成。ボランティアで慰問。センターまつり出演。6回目、反省会とサークルとしての話し合い。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	2	4	1	8	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/yosinari/index.html>

木町通市民センター

沿 革

当市民センターは、木町通小学校の全面改築に伴い、平成16年4月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。人口では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の20代を筆頭に30代、40代、50代、60代と続き、この地域の特性と言える。

都心の中の複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら講座を通して学びの場を提供することを目指している。

平成20年度事業実施方針

「地域で活躍する人材の発掘・養成と知縁での地域づくり」を念頭に、地域ニーズの最優先事業として「子育て支援」と「子どもの居場所づくり」を年間を通して開講する。さらには地域と連携する事業をより発展させ、従来にもまして「ひと・まちづくり」を意識した事業を展開していく。

特色ある事業

<転勤者のための木町通の地域紹介「知ろう・学ぼう・発見しよう」>

① ねらい

地域在住の転勤者対象に市民センターを知ってもらう事を中心に、木町通の地域など地域で活動をしている方々から、生活をする上で必要な情報を教えてもらうことにより、新旧住民同士が顔見知りになり新たなコミュニティが構築され安心して暮らせる地域づくりを目指す。

② 対象 仙台に越して来た方、及び木町通地域の方 20人

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 80人

④ 概要

「木町通の古今物語」と題しての講話とバスで「仙台の名所を巡り」を行い、「知って得する地域情報」テーマ新旧住民同士情報交換をかねての交流会を実施。

<市民企画講座 添加物ゼロ おいしい・かわいい・かんたんママの cookingood!!>

① ねらい

子育てに欠かすことの出来ない「食育」をテーマに、同年代の子どもを持つ保護者同士のコミュニケーションの場を提供することで、仲間作りなど積極的に参加できるよう促し、子育て支援の一助とする。

② 対象 21年4月より就園する子の保護者

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 80人

④ 概要

子どもの「お弁当作り」「おやつ作り」と食育に関する講話を聞き、食育にまつわるパフォーマンスを取り入れたコンサートを実施。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	5	5	2	5	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kimachi/index.html>

中央市民センター

沿 革

仙台市の公民館は、昭和 21 年に在仙文化人有志による民間団体として設置され、その後、昭和 24 年に仙台市公民館条例が制定されて「仙台市公民館」が発足した。各地域の公民館設置とともに、昭和 48 年には中央公民館と改称。昭和 58 年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には中央市民センター・公民館となったが、翌年には中央市民センターと改称した。

当市民センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。そういった立地条件から、最近増加している核家族とともに、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発である。

平成 20 年度事業実施方針

社会変化に対応する為の事業を行い、市民力や仕事力を高めると共に、生涯学習情報や市民活動の情報を提供して、異業種間・世代間交流を深めながら主体的な学びの促進を図る。

市民が学んだ成果を地域に生かし、学びの活動を広げるように、学校や地域と連携してコーディネーターとしての役割を果たす。

地域課題や住民の声を汲み上げ、事業に反映・参画していけるよう努める。

特色ある事業

＜なつかし遊び復活実行委員会＞

① ねらい

身近なものや身体を使った遊びを、市民スタッフが企画運営することで、大人が子どもの成長に関わり、子どもを守り育てる環境作りにつなげる。

② 対象 子どもの成長と遊びに関する活動団体のメンバーを中心とした実行委員

③ コマ数、参加延べ人数 15 回 / 138 人

④ 概要

6 団体から 14 人が企画委員として参加。出来上がった企画は「東口ゆうえんち」として 3 回実施し、地域の子供達との交流が深まった。実行委員同士の情報交換も進み、お互いの活動に参加しあうなど、関わりもできた。

＜サークル情報展 サークルこみゅにけ'08＞

① ねらい

市内で活動しているサークルの紹介や会員募集などの情報発信及びサークル間の交流の場を提供する。また、活動を始めようとする市民に対し、広く情報の提供を行う。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 1600 人

④ 概要

サークルの活動や会員募集などの PR を記入した紹介用紙を展示し、市民に情報提供を行った。最近登録した団体の参加が多かったが、活動を始めたい市民にも、活動中のサークル同士の交流にも役立つ、全市規模での情報提供であった。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
6	2	4	0	6	3	7

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/chuo/index.html>

高砂市民センター

沿 革

高砂地区は、七北田川、貞山堀、蒲生干潟などの自然に恵まれたところであり、南部に広い田園地帯が広がっている。一方近年においては、都市化が著しく進み、大型複合施設、商業施設等の出店も相次ぎ、田園が住宅地に変わるなど、新たな住民が増加傾向にある。また、東北の海の玄関口としての役割が重要視されている仙台港を擁し、物流、工業生産、国際交流の拠点としての整備が進められ、背後地としての発展が大いに期待されている地区でもあり、事業所やマンション、アパートが混在し、若い世帯が増加している地域である。

平成 20 年度事業実施方針

当施設は市民センターのほか児童館、保健センター、老人福祉センター、地域包括支援センター、デイケアセンター等の複合施設であり、利用者層也多岐にわたっている。このような特性を持つ当市民センターは生涯学習の拠点として、住民への学習機会の提供、情報発信の場として事業を展開し、さらに地域との連携を深め、活力ある地域づくりを推進していく。

特色ある事業

<親と子のホットタイム>

① ねらい

地域の「子育てサロン」開催日に合わせて出前講座を開催し、市民センターから離れている地域に住む親子に対し広く学習提供の場を設け、子育てサロンと連携し地域の子育て支援を行う。地域で一緒に遊び、ふれあいながら学習できる場を設ける。

② 対象 未就学児とその保護者

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 189 人

④ 概要

地域との連携により、どの会場でも人が多く集まり、子どもとじっくりと向き合い、コミュニケーションを充分図ることができた。ベビーマッサージや、講師による子育て相談をしたことで、日常の子育てに関する不安が解消され、地域の母親や保護者の心のケアもできた。

<きらきら☆アートくらぶ>

① ねらい

地域の中学生を講師として活用し、小学生に対し絵画・工作を指導してもらい、子ども達が交流することで、地域における子どもの多様な人間関係を育て、青少年の健全育成を行う。

② 対象 小中学生

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 63 人

④ 概要

高砂中学校美術部の生徒やジュニアリーダーの生徒による指導は、目線が近いいためか、説明も的確で小学生には効果的に伝わっていた。指導を受ける子ども達はもとより、中学生・高校生も互いに交流を深め、非常に良い経験となった。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	4	7	2	5	5	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/takasago/index.html>

岩切市民センター

沿 革

当市民センターは昭和 24 年「仙台市公民館条例」の制定により設立された 7 つの公民館の一つで、平成 2 年「仙台市市民センター条例」により市民センターと名称が変更された。昭和 56 年 12 月に現在の建物が建設され、平成 18 年 6～12 月に大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターの他に、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されている。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、多賀城市と利府町、富谷町に隣接している。美しい田園風景が広がり、古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣とともに遺跡が点在している。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われている地域である。

平成 20 年度事業実施方針

近年、岩切駅周辺に大型マンションや新興住宅地が形成され、他地区からの若い世代の移動も多く見受けられ、今後地域の活性化が期待できる。

平成 20 年度は、それら若い世代にとって課題の多い子育て支援を大きな柱として事業を展開していきたい。また今年から、定年退職の時期を迎える団塊の世代の動向にも注目していきたい。

特色ある事業

<おもちゃのレスキュー隊養成講座>

① ねらい

子どもたちの物を大切にする心を育てていくために、おもちゃの修理ボランティアを養成する。また、スキルを生かしたボランティアとして社会参加のきっかけ作りとする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 38 人

④ 概要

おもちゃの修理の基礎を理論から実技へと順を追って学んだ。しかし、実践に至るまでの力量に達しなかったため、さらにスキルアップ講座を開催して学習内容を深め、おもちゃ病院開設に至った。自主サークルとなった「おもちゃ病院ドレミ」は大好評のなか活動を続けている。

<ふれあい囲碁・将棋>

① ねらい

子どもたちの学校週 5 日制の有効活用と、地域の囲碁将棋愛好家たちとの世代間交流を支援する。

② 対象 小中学生

③ コマ数、参加延べ人数 19 回 / 379 人

④ 概要

年間を通して月 2 回、小中学生を対象に囲碁・将棋教室を開催。地域の愛好家が講師になっているので、小中学生と高齢者との世代間交流の場となっている。年 1 回の腕試しの大会は大きな盛り上がりを見せる。平成 16 年度より続く人気講座である。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	5	5	4	6	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/iwakiri/index.html>

鶴ヶ谷市民センター

沿 革

当センターが所在する鶴ヶ谷地区は、東北最大級のモデル団地として、昭和 43 年入居を開始した新興住宅団地である。当館は、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されることとなるが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点として機能している。なお、温水プールは、平成 11 年 4 月から外郭団体へと管理が委託されている。

平成 20 年度事業実施方針

- ・地域と連携し地域活性化に繋がる事業の推進および地域づくりへの積極的な参加。
- ・芸術、文化の創造発展を目ざし、地域に愛され親しまれる音楽会を企画実施する。
- ・さまざまな施設や機関との繋がりを大切に、人と人との関係など知縁づくりを重視した事業の推進。
- ・地域事情を考慮し継続事業を推進しながら、心豊かな地域づくり知縁づくりに向け、参画型の学習推進と地域コミュニティの推進に努める。

特色ある事業

<君もプチレスキュー>

① ねらい

避難所設営等に即応するに必要な地域の力となり得る人材の確保として、地域内中学生に避難所運営上必要な知識・技能を体験学習により体得し、ボランティア活動等への意識づけと即戦力を養う。

② 対象 中学 3 年生

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 692 人

④ 概要

避難所ボランティア実技体験。濃煙体験・簡易トイレ組立・非常時の携帯電話の使い方 AED 体験・弱者疑似体験等を実施した。また、地域の団体が指導・運営することで、いざという時、地域コミュニティが活き、地域に防災活動に対する理解の輪を広げた。

<みんなで創ろう、鶴ヶ谷音楽会 鶴ヶ谷ときめきコンサート>

① ねらい

地域に大きな文化施設、行事等もなく地域全体で交流する機会も少ない。地域や教育機関等と連携し「音楽会」を開催することで、幅広い住民層が集い交流する場の提供とする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 600 人

④ 概要

ブラスバンド、コーラス、ジャズなどによるコンサートを開催。
地元の中学生や幼稚園児も参加し、最後は会場全体で合唱することで聴衆、参加団体との交流ができた。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	6	4	2	6	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tsurugaya/index.html>

榴ヶ岡市民センター

沿 革

日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和48年6月に開館し、平成元年4月に公民館が併設され翌年4月に榴ヶ岡市民センターに改称された。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園の東側に位置し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館・国の合同庁舎・クリネックススタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されている。

平成20年度事業実施方針

新旧を併せ持つ地域環境の中で、「地域に根ざした地域の市民センター」を重点課題として取り組み、町内会および地域団体等との連携を強化し、来館者数、利用率の拡大を推進してきた。

今年度は、さらに町内会、関連施設、地域団体、小中学校、社会学級等との連携を強化し、地域づくりの拠点として市民協働を支援する榴ヶ岡市民センターを確立する。

特色ある事業

<地域と学ぶ>

① ねらい

地域町内会と市民センターとの共催事業として開催。

地域の課題やニーズを探り、地域の資源・素材をテーマに取り上げ、地域のコミュニケーションの場としてさまざまな学習内容で展開する。

② 対象 地域の方どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 7回 / 263人

④ 概要

地域町内会のメンバーからなる企画検討委員会で課題、ニーズを探り、地域の資源や素材・人材の活用などを図り開催。地域のコミュニケーションの場として、地元学・健康・食育など、さまざまな学習内容で実施した。

<榴ヶ岡伝承クラブ>

① ねらい

榴ヶ岡老壮大学生や地域の高齢者が講師となり、子どもたちに地域の歴史や昔の遊び・行事を伝えながら、子どもたちと地域の高齢者とのふれあいをとおして、地域の歴史や文化の継承を推進する。

② 対象 榴岡小学校6年生

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 58人

④ 概要

榴岡小学校6年生2クラスの児童がグループに分かれ、榴ヶ岡老壮大学生と地域町内会の高齢者のみなさんから戦時中の体験や当時の暮らしの様子、昔の遊びなどを聞き、平和について考える「平和学習会」を実施した。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	4	5	3	13	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tsutsujigaoka/index.html>

東部市民センター

沿 革

昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に全面改装され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。

当市民センターは、宮城野区役所から北東へ約 0,7km の地点に位置し、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。付近には、東仙台・苦竹・原町などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。近年、新田や新田東地区の人口増加により館利用管轄地域の範囲が広がってきている。

平成 20 年度事業実施方針

当市民センター管轄地域には、近年住宅地開発に伴い乳幼児をもつ若い夫婦・単身者など若年層が増加した。一方従来の管轄地域では、町内会活動や集会施設などの充足により利用の減少傾向が見られる。20 年度は若年層を対象とした事業を開催し、新たな受講者の開拓に努める。学社連携・市民参画をこれまで以上に推進すると共に、新たな地域諸団体との連携に力を入れ、市民センターが地域に根ざし、地域の核としての役割が遂行できるよう事業を展開していきたい。

特色ある事業

<東部さくらコンサート>

① ねらい

音楽への関心が高い地域住民が身近に参加できる交流の場を提供し、住民の結びつきを深める一助とする。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 1回 /150 人

④ 概要

小学校ブラスバンド・センター利用のコーラスサークル・アコーディオンサークル・大学のマンドリンクラブ・地元在住のサクソ奏者が一堂に会し、歌や演奏を披露した。フィナーレでは観客も一緒に全員で合唱を楽しんだ。

<東部さろん>

① ねらい

地域住民が地域で活躍する人の話を聞き理解することで相互の交流を深める場を提供する。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 10 回 /129 人

④ 概要

フリースクール・児童福祉施設・青年海外協力隊・福祉作業所など社会福祉分野、ジャズ・ハーモニカ・絃・すずめ踊りなど芸能芸術分野、市電・園芸・コーヒーなど趣味の分野と、幅広いジャンルの話を聞くことができた。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	4	4	2	5	2	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tobu/index.html>

幸町市民センター

沿 革

平成5年4月20日、地域住民の長年の念願が叶い、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当施設がある幸町中学校区は、与兵衛沼を囲む緑豊かな里山が残存し、自然環境に恵まれた柗江・安養寺地区と、旧来からの住宅地であった南丘陵斜面に位置する二の森地区、旧田園地帯で今は量販店や高層住宅が林立する幸町地区・大楯地区からなっている。

地域内には宮城野図書館、県保健環境センター等の社会教育施設も多く、生涯学習活動環境としては最適である。また、県障害者福祉センター、県障害者総合体育センター、授産施設、特別養護老人ホーム等の福祉施設も多々あり、遠方からの利用者も多い。

平成20年度事業実施方針

当地域は、県、市営・公団等の共同住宅が多い地域である。また民間マンション等の建設が相次ぎ地域環境が大きく変化し、若年層の増加がみられる。この著しい変化に伴い、新旧住民のコミュニケーション不足がみられる。こうした地域の特性を踏まえ、全市重点事業の、学校や地域との連携事業、子育て支援の託児付事業、青少年健全育成事業等を実施する。また、土日・夜間講座を開催し地域住民が参加し易い環境を提供、地域づくりの拠点としての機能を果たす。

特色ある事業

＜学校へ行こう隊＞

① ねらい

核家族世帯の多い地域の小学校と高齢者が、地域の自然探索や伝統文化の伝承などを通して交流を深めお互いを理解し合う。学校と地域社会の連携を深め子供達が安心して暮らせる地域コミュニティづくりにつなげる。

② 対象 地域の小学生 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 14回 / 949人

④ 概要

地域内にある小学校と連携し、昔あそびや折り紙・しめ縄づくりなどを通して地域の方と小学生が交流を図った。

＜続・さいわいお知恵拝借＞

① ねらい

地域の核家族の親や、新しく引越をし、孤立感を感じている人が地域を知り、地域の中にとけ込めるようにするため、地域で活動している経験豊かな高齢者と情報交換と交流の場を設ける。

② 対象 地域の方どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 47人

④ 概要

幸町境界の話や散策・仙台七夕、郷土料理作りなどを通して、新旧住民の交流を図った。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	5	2	7	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/saiwaichou/index.html>

田子市民センター

沿 革

平成11年8月、仙台市の東部、宮城野区田子地区に仙台市で53番目の市民センターとして、多目的ホール、大小会議室、大小和室、調理実習室、児童館・同付属図書室・コミュニティ防災センターとの併設施設として開館。

田子は往古、湖の多さに坂上田村麻呂が多湖と名づけ、その後、風光明媚をもって源頼朝が静岡田子の浦に比して田子と改称したという伝承の地。七北田川、田園など自然環境に加え歴史的な地域資源も豊富で学びの材料は無尽蔵とも。古くからの伝統的地域の半面、仙台中心地・近郊都市と直結するJR仙石線(最寄駅 福田町徒歩7分)や国道45号線などの利便性に多くの学校を有する教育環境などがあいまって、若い世帯を含め転入する住民の急増で近郊都市化が進展中。多数の力のあるリーダーを中心に、防災など特色ある地域活動が活発で、住民間の協力が進んでおり、市民センターはこれらの条件や立地を活かし学校や地域と連携、地域・環境を大切に事業を展開してきている。

平成20年度事業実施方針

- 1 地域との連携を強化し、地域課題を解決し、地域の自然・文化を学び守る事業を展開する。
- 2 市民センター便りの改善、近隣館との共催、及び講座告知の工夫で情報提供を充実する。
- 3 地域人材発掘、ボランティアグループ支援に加え、市民企画等、市民協働事業を推進する。
- 4 地域・学校・児童館、近隣市民センターとの連携を軸に地域のネットワーク作りを推進する。
- 5 託児付・土日夜間講座等便宜性を高めるとともに、受講者・市民の意見反映の場を拡充する。

特色ある事業

<緑のボランティア養成講座>

① ねらい

定年後の団塊の世代が人生を緑に囲まれた情緒豊かなものになるよう植栽技術を学ぶ機会を持つ。習得できた技術と知識を生かし、潤いのある街づくりに貢献していく。

② 対象 成人15人

③ コマ数、参加延べ人数 6回 / 59人

④ 概要

植栽管理の基礎・基本を学び、「椿」「山もみじ」「もっこく」「さつき」「ヒバ」など、市民センター敷地内の樹木を教材にし、剪定の技法を学んだ。さらに受講者相互に「植物」に関する情報交換しながら、交流を図っていく。

<農業実践教室「豆腐づくりにチャレンジ!!」>

① ねらい

仙台に伝わる伝統野菜の栽培を通し、農業全般について学ぶことによって地域の理解を深める。栽培の楽しさと収穫の喜びを体験し、さらに収穫物を利用した「食品」作りに取り組み、「食」の大切さを学ぶ。

② 対象 成人15人

③ コマ数、参加延べ人数 15回 / 120人

④ 概要

安心農産物(有機農法)への取り組みを目指し、土づくり・耕耘・施肥・追肥と体験しながら地域伝統野菜を栽培した。特に「あおばた豆」収穫から「豆腐づくり」に取り組み、地域の子どもたちを交えた「収穫祭」を行った。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	5	3	2	5	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tago/index.html>

福室市民センター

沿 革

福室市民は平成 15 年 3 月に宮城野区福室・栄地区に福室児童館・福室コミュニティ防災センターを併設して開館した。

この地域は七北川左岸河口近くの田園地帯であったが、国道 45 号線とJR仙石線沿線上にあり、仙台市中心部への交通の便が優れていることから急速に宅地化が進んだ。また昭和 33 年に広大な仙台市営高砂住宅団地が造成され、さらに昭和 56 年にJR中野栄駅も開設し、一挙に市街化が進んだ。現在、一般・集合住宅地域と旧来の農業地域が混在する地域となっているが、今なお七北川周辺の美しい自然も残されている。

平成 20 年度事業実施方針

当センターは、仙台市東部に位置し、福室・中野栄地域を管轄している。平成 15 年 3 月開館以来、「知って・来て・見てもらう」をモットーに地域の生涯学習の場として各種講座を開催し、利用者増進にむけて取り組んできた。今年度は、地域との連携を図りながら、学社連携や市民参画などの事業を推進して地域活性化につなげる。また、地域人材の発掘や市民参画講座の実施により地域密着に努め、「地域に根ざし・活力に満ちた・愛される市民センター」の運営を目指す。

特色ある事業

＜キッズわいわいクッキング＞

① ねらい

未来を担う子ども達が食の大切さを学び、食の安全性や旬を知る機会としながら伝統料理を学ぶ。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 8 回 / 146 人

④ 概要

地域の方の畑を見学して、自分で野菜を収穫することで食の成長過程や旬を確認。また、収穫した野菜も使って四季折々の伝統料理などの調理実習を行い、食文化を知り、伝統を伝える大切さも学んだ。

＜福室市民センターIN中野栄＞

① ねらい

地理的に足の不便を感じている中野栄地域へ出前講座を行ない、市民センター利用の促進を図り、地域交流のさらなる拡大に努める。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 100 人

④ 概要

地域で活躍している方による、歌・踊り・フラダンスの心温まるコンサートを「ハートフルコンサート in 中野栄」として開催。

出演者に中野中学校ALT教師もいて、参加者も老若男女、国際色豊かに集い、交流できた。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	5	6	3	5	1	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/fukumuro/area.html>

若林区中央市民センター

沿 革

当市民センターは、昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館した。その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変えたが、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転し、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は、児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。

若林区文化センターは、市民センター・図書館・市政情報センターが併設されている複合施設であり、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

平成 20 年度事業実施方針

これまでの事業方針と地域ニーズを踏まえながら、重点事業としての「学校や地域との連携」や「市民が学んだ成果を地域社会に生かす」という市民センターに求められている課題に継続して取り組むほか、「子ども読書活動推進計画」「すこやか子育てプラン」等の行政施策対応事業にも積極的に取り組んでいきたい。また、日常業務としての広報・情報収集・サークル支援業務を充実したものとして、魅力ある地域づくりを推進していくものとする。

特色ある事業

<子どもワクワククラブへいっしょい>

① ねらい

「子どもワクワククラブ」の講座を申し込みに来た保護者を対象に、子育て意識を高めるために、家庭教育講話を行う。

② 対象 小学生の保護者

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 25 人

④ 概要

子どもワクワククラブ(クッキング・科学・工作)の講座内容の説明会と申し込みの受け付けを行い、その後「家庭教育と地域教育」の講話を行う。

<ミュージックあ・ら・かると>

① ねらい

地域で活動している音楽サークルの成果発表の場として開催する。また、講座の運営を全員で行い、サークル同士の交流を図る。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 158 人

④ 概要

発表する音楽サークルのメンバーがスタッフとなり、演奏会の運営を行いながら日頃の成果を発表する。終了後に反省会を行い、交流を深める。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	4	6	3	6	5	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/wakachu/index.html>

七郷市民センター

沿 革

昭和 58 年 4 月 七郷公民館(保健センター併設)開館。
 平成元 年 4 月 七郷公民館・市民センターに改称, 若林区の拠点館となる。
 平成 2 年 4 月 七郷市民センターに改称。
 平成 9 年 5 月 若林区中央市民センター開館につき, 拠点館機能を移行する。
 平成13 年 4 月 (財)仙台ひと・まち交流財団が業務を実施。
 平成14 年 4 月 児童館を併設する。
 平成16 年 4 月 指定管理者制度の導入により(財)仙台ひと・まち交流財団が選定される。

平成 20 年度事業実施方針

- 1 各個人のライフワークを, より有意義にそして充実させるための援助をする。
- 2 自主学習の契機と必要な情報を提供し, 更なる自己確立を促す。
- 3 ボランティア精神を養うことで, 生涯学習ボランティアの育成や支援に繋げる。
- 4 世代間の交流ができる学習を提供することで, 地域の活性化を図る。
- 5 ライフステージ毎の事業の質と向上を図り, 発展性のある学習機会を提供する。

特色ある事業

< 市民企画講座「図書まつり」 >

① ねらい

新旧の混在する住民にむけて, 市民センターの活動や図書室利用の促進, さらに地元
に伝わる文化や歴史の再認識を図りながら地域交流を進める。

② 対象 地域住民

③ コマ数, 参加延べ人数 1 回 / 41 人

④ 概要

地域のボランティアの皆さんが中心となって作成した「七郷かるた」のかるた会を開催し,
かるた解説書から地域の歴史や伝統文化について学習する。また, 地域の協力者の方と
ともに, 「おりがみ」や「紙相撲」で交流を深める。

< 七郷学びの応援隊「思春期の子どもの育て方」 >

① ねらい

心身が最も発達する時期である思春期の子どもたちの心を知り, 親と子, または, 大人と子
どものより良い信頼関係を築くことを学ぶ。さらに, 地域が子どもたちをあたたく見守っ
ていける環境をつくっていく。

② 対象 どなたでも

③ コマ数, 参加延べ人数 2 回 / 120 人

④ 概要

「七郷学びの応援隊企画会」が企画した講座である。第 1 回目講演会「より良い親子の
関係」と, 第 2 回目講演会「子どものサインの受けとめ方」を通して, 親子の信頼関係と, 地
域での取り組みを考える。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	2	7	2	7	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/sichigo/indexhtml>

荒町市民センター

沿 革

昭和 47 年度に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称が変更になり、これまで施設・設備の充実を図り今日に至っている。

当市民センターは仙台市のほぼ中心部、老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台伊達藩の名残を今尚残している地域でもある。

また、地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便が良いため、地域はもとより市内全域から利用者が訪れ、高い利用率となっている。なお、交通の利便さから夜間利用者も多く、特に勤労青少年活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

平成 20 年度事業実施方針

かつて御譜代町の一つとして栄えた荒町は、毘沙門天様のお祭り、商店街を中心とした七夕飾りなど伝統の行事等が今尚残っている。地域との連携・協働を図るべく町すずめ 2008、伝統の七夕飾りを実施し町行事に参加する。特に伝統の七夕飾り作製はどなたでも参加できるように手話通訳付で実施する。

また、荒町周辺地域はマンション・アパートが多いところから若い年代層の転入者も多く、子育て中の保護者のふれあいの機会づくりとして子育て支援関連講座を拡充し展開する。

特色ある事業

<伝統の七夕飾り 手話通訳付>

① ねらい

荒町通りに飾る七夕も観光コースに位置づけられているが、数が年々減ってきている。盛り上げるためにも参加することにより地域の活性化に協力できる。参加者には、見る七夕から作る楽しさを知ってもらうと同時に由来も学習し、より理解を深める。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 121 人

④ 概要

- ① 講話「仙台七夕の由来と説明」および七夕飾り作りの実習
- ②～⑤ 実習 七夕飾りと並行して、ミニ七夕の作製
- ⑥ 荒町通りに早朝飾り付けをし、その後七夕の視察・見学

<発見！仙台・荒町>

① ねらい

荒町市民センターの周辺は新たなマンションなどが立ち並び、転入者や外国人も多い。そこでまだ地域交流が薄く情報源も少ない方々に、地域の歴史や役立つ情報を提供し、参加者相互の交流の場とする。

② 対象 転入者または関心のある方

③ コマ数、参加延べ人数 8 回 / 44 人

④ 概要

荒町界隈の歴史を学び、実際に「荒町界隈物語」の作成に関わった編集員のガイドで史跡や寺院、老舗等を巡り歩いた。その後、町歩きで発見したものの情報を整理し校正を重ね、荒町界隈町歩きガイドマップを完成させた。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	3	4	2	9	6	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/aramachi/index.html>

六郷市民センター

沿 革

昭和 56 年地域住民の福祉増進を目的に、保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年に「六郷児童館」が併設され、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地区は若林区の南東部に位置し、広瀬川と名取川の合流点を有し、昔は二浜・六村と言われ今でも往時の姿をとどめて幾つかの集落に分かれ、居久根や田園・海岸には貞山堀や防砂林など自然に囲まれた昔ながらの風景が数多く残る一方で、宅地化により新しい町並みが生まれてはいるものの、急激な人口変化はなく少子高齢化が進んでいる。

平成 20 年度事業実施方針

六郷地域の特色を踏まえ、地域の重要課題である地震・津波・洪水に対応するための「六郷地区防災対策推進委員会」がうまく機能するように積極的にかかわり、防災訓練や指定避難所開設訓練、防災講座等を企画・実施する。

また、「事業懇談会」を実施して、歴史や自然・福祉や環境を取り上げた地域のニーズに沿った事業や講座を展開する。

特色ある事業

＜六郷地域防災事業＞

① ねらい

「六郷地区防災対策推進委員会」が円滑に起動するよう学校・町内会・地域の諸団体と調整を図りながら、六郷小学校学区の防災訓練実施や災害時のスムーズな指定避難所開設に向けた具体的な取り組みを支援し、地域の防災意識を高める。

② 対 象 各町内会、地域諸団体、地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 8 回 / 849 人

④ 概 要

消防署より講師を招いて災害時の初動手順を学び、起震車を体験。また、小学校を会場に「六郷小学校学区指定避難所開設訓練」を実施し、地域住民やペットが円滑に避難できるよう、各団体が円滑に役割を担う協力体制を構築した。

＜広瀬川すいすい自然塾＞

① ねらい

六郷地区は昔から広瀬川との関わりが大きく、河口の井土浦観察や広瀬川の地質・植生・人との関わりを学習し、川の恵み・川の役割・環境保全の大切さを学ぶ。

② 対 象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 10 回 / 135 人

④ 概 要

広瀬川の源流を実際に歩き、山の自然環境が川にもたらす影響を学ぶ。また、「名取・広瀬川漁協組合」と連携して鮭の産卵を預かり、鮭育成ボランティアと共に市民センターで育てた稚魚を、4 年後の遡上を願い早春の広瀬川に放流した。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	5	1	3	13	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/rokugo/index.html>

沖野市民センター

沿 革

当市民センターは、平成3年4月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。平成4年センター前広場には、芝生と多種の木が植えられ「光と風」を設計コンセプトとした豊かな広場を持つ市民センターとして、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んであり、その利用者数は年々増加の傾向にある。

平成20年度事業実施方針

「地域と共に歩む市民センター」をめざし各種事業を展開してきたところであるが、20年度はさらに地域の関係機関と連絡を密にしながら「地域住民参画による地域住民のための生涯学習の提供」を基本理念として、市民が学んだ成果を社会に生かすことができるよう事業を推進すると共に、地域住民の学びの活動を通じて地域づくりを支援していく。

特色ある事業

<防災力アップ～沖野キャラバン隊>

① ねらい

災害時に各人がどう行動すれば良いか、地域全体で何ができるかを、具体的に劇の形で上演し、地域全体の防災意識の向上を図る。上演後は参加メンバーでキャラバン隊を組織し、町内会や子ども会、福祉施設などでの同劇の上演を目指す。

② 対象：成人

③ コマ数、参加延べ人数 12回 / 245人

④ 概要

沖野防火クラブとの連携で必ず来ると言われている宮城県沖地震を想定した脚本作りと舞台装置を手作り。「あなたは、地震の備えは万全ですか」の題名で寸劇を上演した。救急救命やAEDの使い方なども学び、地域の防災意識を高めた。

<オリンピック開催にちなんで「まると中国を知る」>

① ねらい

オリンピック開催に合わせて、開催国中国について理解と交流を深め国際都市を目指す仙台市民として自覚し、出会い、ふれあい、学ぶことの楽しさを味わい国際交流の一助とする。

② 対象：成人

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 82人

④ 概要

論説委員による中国情勢の解説、歌と楽器、踊りによる留学生との交流、家庭でも出来る中華料理を学んだ。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	3	4	8	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/okino/index.html>

若林市民センター

沿 革

当市民センターは平成3年4月に若林児童館、コミュニティー防災センターの併設施設として開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。管内は政宗ゆかりの史跡や商人街の歴史を伝える町名を残し、広瀬川の自然にも恵まれている。また、地域町内会等と一体となったふれあいまつりを平成6年度から、コスモスを育て、その開花時に地域住民が集うコスモスマつりを平成9年度から定例行事として開催している。

平成20年度事業実施方針

生涯学習を通じた地域づくりの拠点として市民センターが十分機能できるよう、地域の状況やニーズを的確に把握し、地域人材の育成や関係機関・団体等との連携を深めていく。特に児童館併設の強みを活かした親子や女性対象の事業、地域ならではの事業や、市民企画、地域住民が気軽に参加出来る事業等を通して、異世代含めた利用者の交流や来館促進を図る。

特色ある事業

＜昭和夏ものがたり＞

① ねらい

核家族が進み地域との関わりが減少している現状を踏まえ地域が元気だった昭和30年代の時代設定で「交流広場」を再現し、失われつつある地域交流の原点を学ぶ。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 260人

④ 概要

地域の協力のもと、昭和時代の写真や生活用品の展示、夏まつりの再現などをおとして地域交流の原点を学び、今後の地域交流活性化に活かした。

＜サークル活動支援～趣味の友を見つけませんか？～＞

① ねらい

センター利用サークル会員の高齢化に伴い活動の停滞が見られている。サークルの応募者をつのり、その活動の活性化の一助とすると共に、同じ趣味をもつ地域住民相互が知り合い、地域での交流やサークル活動を始めるきっかけ作りになるようにする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 26人

④ 概要

サークル紹介や、作品展示・体験などの場を設定したり、また参加した人たちが自分の趣味や参加したいサークルを述べ合い、知縁のきっかけづくりとした。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
0	5	6	3	9	4	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/wakabayasi/index.html>

太白区中央市民センター

沿 革

太白区中央市民センターは、平成 11 年 6 月長町商店街の中核をなす JR 長町駅前に太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターからなる複合施設として開館した。JR 長町駅前と国道旧 4 号線沿道という立地条件に恵まれ、バスや地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れているため、近隣の広い地域の市民が学習活動に利用している。

当市民センターの周辺地域は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のあるところであるが、近年においては地下鉄沿線の開発が著しく、大規模小売店の進出やマンション建設が進み、また JR 東北本線の高架化や JR 長町駅の移設に伴う新駅の開通などに伴い、長町地区の交通の利便性が更に増し今後大きく変貌を遂げようとしている。

平成 20 年度事業実施方針

平成 11 年 6 月に市民センターが開館してから 9 年目を迎える。地域に根ざした多様な学習ニーズに対応した講座や現代的課題に対応した事業などを通して、開かれた魅力ある生涯学習の拠点施設として事業を展開していく。特に今年度は、「託児付講座を市民と協働で企画を行う事業」「地域の活性化をねらいとする事業」「学校や地域と連携し、子どもたちの育ちを支援する事業」「市民参画型事業」の 4 つを重点的に取り組む事業として実施する。

特色ある事業

<ながまち暮らしの輪>

① ねらい

近年、長町地域がめまぐるしく変化していることから長町の昔と今を交通にスポットを当てて移り変わりを学び地域に関心興味を持つと共に歴史を再認識する。

② 対象 小学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 40 人

④ 概要

太白区内の交通「昔と今」をテーマに奥州街道長町宿、秋保電鉄について古地図やビデオを見ながら地域の歴史を再認識。

<セカンドライフ これからの楽しみ方を描く>

① ねらい

定年退職後の方で自分の特技やキャリアを活かし地域に役立つ活動を考えている方へ、情報提供と活動体験の機会を提供しコミュニティづくりを図る。

② 対象 50 代以上の成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 39 人

④ 概要

1. オリエンテーション・簡単な料理を通して、みんなでワイガヤ語り合う
2. パネルディスカッション「幸せのカタチ探そう」
3. 活動体験(半日)
4. ワークショップ「新しいプランを語り合おう・交流会」

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	2	4	5	7	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/futochu/index.html>

生出市民センター

沿 革

昭和 24 年、生出村公民館として発足、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和 31 年仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。その間「公民館だより」71 号を発刊し、当時県下の公民館だよりの先駆的役割を果たした。

地域住民の強い要望から昭和 42 年 5 月、地域社会教育の拠点として現在地に生出公民館が建設され、事業が活発になった。昭和 55 年 5 月、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望されるようになり、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設が完成した。10 月には第 1 回生出コミュニティまつりが開催された。平成 2 年に市民センターに改称され、市民相互の交流と地域活動の振興の拠点として利用されている。

平成 20 年度事業実施方針

当市民センターの地域は、昔からの伝統と自然が残されている坪沼地区、かつては繁栄した旧笹谷街道沿いの茂庭地区、北東部の団地を中心とした地区で成り立っているが、少子高齢化と過疎化の進展により、地域の再生、再開発等のまちづくりが大きな課題となっている。伝統的な事業を継続し、地域情報を発信すると共に、全市重点事業および時代・世代のニーズに対応できる事業に積極的に取り組むように努める。

特色ある事業

<生出地域伝承>

① ねらい

地域に残る伝承文化や歴史について情報を収集し、学び、再発見する。
地域情報発信のためのタウン誌等作成のあしがかりとする。

② 対象 地域住民の方々

③ コマ数、参加延べ人数 8 回 / 60 人

④ 概要

- ・地域有識者による地域学や地域に伝わる民話などを聞いて、地域の発信情報まとめる。
- ・かつて発行したことのあるタウン誌(生出タウン誌 1 号～5 号)の記事内容を参考に地域情報の収集方法等について検討し、収集情報をまとめる。
- ・情報発信の方法について具体化する。

<坪沼っ子アントレ>

① ねらい

純朴な子どもたちが、野菜作りを通して地域への理解を深める。商売を擬似体験することで、お金の大切さ、物を売ることのたいへんさを学びながら、子ども達自身の成長を促す。

② 対象 坪沼小学校の児童と坪沼幼児学園園児

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 93 人

④ 概要

- ・起業活動：米・野菜販売のリハーサルと生出コミュニティまつり出店体験
- ・坪沼地域サポーターとの「ふりかえりとこれからについて」

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	5	3	2	9	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/oide/index.html>

中田市民センター

沿 革

昭和 44 年 10 月に、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築。平成 2 年 4 月に「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの外壁塗装や体育館暖房装置設置等を内容とした大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月にリニューアルオープンし、現在に至る。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は太白区内市民センター 13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進の重責を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

平成 20 年度事業実施方針

子育て支援や小中学生の健全育成、災害時の高齢者保護といった地域の課題に対応した事業を、地域の諸団体と連携しながら実施する。また、町内会など地域活動も盛んな地域特性を土台にして、転入者と旧住民が一体となって地域づくりを検討する場を作る。さらに、中田まつりやかかり火コンサートでは更なる地域づくりにつながる様に地域の声を幅広く取り込む。

特色ある事業

<「中田ブランド」をつくろうーめざそう!ナポリタン>

① ねらい

外国人と接する機会が少ない地域の子供たちが、仙台在住の外国人や留学生、スタッフの大学生と複合的コミュニケーションを図ることで、地域を考え、将来中田地域を担う国際人を育てる。

② 対象 小学 4 年生～中学生

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 55 人

④ 概要

韓国、イタリア、中国の 3 国の人から、生活や文化の話を聞き、各国の料理を作り試食し、交流を図ることで、多文化共生について学び、最終回には父兄や地域の人を招待しての食事会を開催した。

<裁判員制度上級編ー法曹三者から学ぶー>

① ねらい

まもなく始まる裁判員制度への更なる理解と参加の心構えを持つため、裁判所、検事、弁護士の三者から同制度を学ぶ。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 32 人

④ 概要

(1)裁判員制度のおさらいと模擬評議(2)検察官が考える裁判員制度(3)弁護士が考える裁判員制度(4)学習の振り返りと、実際の事件をとりあげて有罪・無罪や量刑等を検討する話し合い

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	7	2	4	7	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nakada/index.html>

西多賀市民センター

沿 革

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和50年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和53年仙台市として5番目の福祉会館として開設した。昭和58年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成3年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

平成20年度事業実施方針

地域特性を視点に置き、複合館としてのメリットを生かし、小・中・高等の学校や地域住民と連携した事業を企画すると共に、継続的事業には新構想を取り入れ、併せて新企画にも着手する。具体的には、地域での子育てを支援する事業、高齢化に向けて健康を維持するための事業、更に市民の積極的な参加をうながし、市民企画の自主性を高めて、生涯学習の企画・運営を推進する。また市民のニーズを的確に把握するために、「地域を結ぶ懇話会」の更なる充実に努める。

特色ある事業

<学ぼう、伝えよう 西多賀の財産—西多賀検定委員会>

① ねらい

西多賀地区には、名所旧跡が多い。それらの地域の財産をクイズ形式の「西多賀検定」という形で実施することで、その知識を享受し、共有する。更に長町と秋保を結んだ地域をPRし、愛着をもってもらう。

② 対象 19才以上の男女

③ コマ数、参加延べ人数 20回 / 128人

④ 概要

公募された地域の方々と構成される「西多賀検定委員会」を発足させ、地域の歴史、遺跡、名所、産業、地理等に関する問題を作成する。問題用紙を各所に置き、回答を審査し、一定以上の正解者には、「認定書」を交付する。

<くにしたがふれあい広場—かけがいのない命を学ぶ>

① ねらい

核家族化・少子化が進み、近隣との関係も希薄になっている現代において、中学生が、妊婦の疑似体験や乳児人形を使つての育児体験を通して、自分の命の大切さや他者への思いやりを考える。

② 対象 西多賀中1年生及び富沢中2年生

③ コマ数、参加延べ人数 2回 / 432人

④ 概要

中学校の授業に、東北福祉大学、太白区保健福祉センター、地域に住む妊婦、保護者が協力し、妊婦疑似体験や育児疑似体験の体験活動並びに胎児の心音を聴き、「子どもを産むことの大変さ」を認識し、「命がいかに大切か」を学び、若い世代に伝えていく。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	9	4	2	7	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nisitaga/index.html>

八本松市民センター

沿 革

当市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 59 年 9 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として着工し、昭和 60 年 5 月に開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、歴史資産として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

平成 20 年度事業実施方針

学校、行政、地域各団体と連携した事業を行い、地域とのネットワークづくりを推進し、実施講座からあらたに人材・資源の発掘を積極的に行う。また地域の歴史的遺産、自然資産に関連する講座、文化的資産のあらたな発掘など、継続的に事業を行うことで地域住民がより一層愛着心もてるように、コミュニケーションをはかりながら地域力の強化を推進する。

特色ある事業

<手話でうたおう>

① ねらい

隣接する県立聴覚支援学校と協働し、地域住民に聴覚障がい者への理解を深め、地域との和やかなふれあいを広げるため、ボランティア「手話サークル秋桜」と連携し手話ソングを学習する。

② 対象 小学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 81 人

④ 概要

簡単なあいさつの手話の学習と秋桜さんによるデモンストレーション。

年齢により 2 グループにわかれて、のべ 6 曲を学習しお互いに発表しあった。

<八本松子育てカフェ>

① ねらい

長町副都心計画で若い世代の転入者が増え、子育て中の母親が地域の情報や仲間づくりの場を求めている。自分たちで情報を収集・発信し、交流する輪をひろげネットワーク形成とサロン化を目指す。

② 対象 乳幼児のいる母親

③ コマ数、参加延べ人数 32 回 / 528 人

④ 概要

読み聞かせ、親子ビクス講座を開催後、さらに継続して参加できるメンバーを募り、親子で交流しながら、地域の子育て事情などを掲載した情報誌を定期的に発行している。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
0	2	4	2	13	4	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/hachihonmatsu/index.html>

八木山市民センター

沿 革

昭和 62 年 4 月 6 日に開館した八木山市民センターは仙台市南西部に位置し、昭和 30 年代後半～40 年代中頃にかけて整備・開発された豊かな自然と調和の取れた住宅地にある。さらに八木山動物公園、八木山ベニールランド等のレクリエーション施設や大学、野草園、放送局そして総合病院等の学術・文化・医療の公共施設が揃っている地区でもある。そのような恵まれた環境の中、市民の自主活動及び生涯学習の拠点施設として地域住民に広く利用されている。

平成 20 年度事業実施方針

恵まれた自然環境、活発なボランティア団体、学生の世帯率や高齢化率の高さといった八木山地区の特徴を捉えながら、地域連携を軸に事業を遂行する。

- ① 学校や地域との連携を図る事業:「パパと遊ぼう～スポーツチャンバラって楽しそう?～」
- ② 市民が学んだ成果を地域社会に活かす事業:「読み聞かせボランティア養成講座」
- ③ 市民参加型事業:子育てママ御用達企画員募集「八木山界限ワイワイ TALK」

特色ある事業

<高齢者向け・ひとり暮らしの簡単便利帳>

① ねらい

八木山地域のひとり暮らしの高齢者が元気に安心・安全な生活を送るために、八木山地域オリジナル「ひとり暮らしの簡単便利帳」をつくり、高齢者の自助努力を促進する目的で制作員を募集する。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 10 回 / 199 人

④ 概要

- (ア) 高齢者の一人暮らしの現状とニーズの把握～分析と方向性の決定
- (イ) ハンドブックの制作(内容の検討と見直し、制作)
- (ウ) 一人暮らし高齢者に対する説明及び懇談会の開催と活用方法の検討及び配布

<八木山杯 3on3 バスケット大会>

① ねらい

新築された体育館にはバスケットコートが併設された。中学・高校生を対象に 3on3 バスケット大会を開催し、今後センターを利用してもらうためのきっかけづくりと交流を目的とする。

② 対象 中学・高校生

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 31 人

④ 概要

- (ア) 男女別に 3 人でチームを編制する
- (イ) 試合方式は応募チーム数により決定する(予選リーグ、決勝トーナメント)

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	3	4	2	7	7	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/yagiyama/index.html>

山田市民センター

沿 革

当市民センターは、コミュニティ防災センターを併設して昭和 62 年 4 月 17 日に開館した。近隣には大規模な開発によってできた人來田・太白の団地群を含み、藩政時代に造られた杉土手などが現存する自然にも恵まれた環境にある。また、周辺には太白消防署・鉤取球場・縄文自然の森広場などがあり、スポーツやコミュニティ、学びの場として広く利用されているとともに、安心・安全の地域中枢にもなっている。

こうしたなか、山田市民センターは地域の生涯学習やコミュニティづくり、また憩いの場として住民より親しまれ、活用されている。

平成 20 年度事業実施方針

当地区は豊かな自然に恵まれ、歴史的遺産が残る地域である。造成後 30 年以上経過した団地を抱え、空洞化・過疎化が進行する郊外型住宅地になりつつあり、高齢化が進んでいる。

こうした状況を踏まえ、自然や歴史等の特性を生かし高齢者やボランティア養成を重点にし、地域の課題や多様なニーズに対応できる市民センターの活動を展開して地域の活性化を図る。

特色ある事業

＜山田ごみ減量作戦会議ーエコ生活改善を実現するー＞

① ねらい

地球温暖化が私達の生活にも影響を及ぼし始めている昨今、環境問題について学習し、身の回りから生活の中でできる事を考える。楽しみながら衣食住それぞれのエコを考え、生活者の視点からエコ生活を実現していく。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 11 回 / 113 人

④ 概要

市民企画講座。企画員が環境問題について学習し、3R を実現するにはどうしたらよいかという視点から、どのように展開していくか検討する。その話し合いの結果により、講座・イベントを展開する。

＜山田歴史散歩＞

① ねらい

山田地域に点在する遺跡・遺構・歴史的建造物を探訪し、由来や地域の歴史を学び、現状を把握することで山田地域の良さを発見する。またそれをマップに整理して市民センターまつり等で掲示することで地域へ情報発信し、認識を新たにしてもらい愛着心を育てる。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 67 人

④ 概要

山田・人來田中学校区に点在する遺跡・遺構・歴史的建造物について学習し、鉤取方面・羽黒台方面・市民センター周辺など、現地を歩き史跡マップを作成する。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	5	4	3	5	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/yamada/index.html>

茂庭台市民センター

沿 革

茂庭台地区は仙台市西部で青葉区に隣接し、西道路を利用すれば市内中心部まで約 20 分の距離に位置する。当センターは昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターとともに設置され、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業が開始され、平成 2 年から児童館が併設された。近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、周囲の自然環境と調和し地域コミュニティの場となっており、高齢者、子ども、福祉施設の方々、外国人居住者の利用も多く生涯学習の輪も広がっている。また、地域住民、各種団体と市民参画に沿った地域性を生かした事業、地域人材を活用した講座や地域課題に即した講座も開催している。

平成 20 年度事業実施方針

1. 地域課題を把握し外国人の言語指導、高齢者の健康講座、児童館との共催事業の推進。
2. 近隣の市民センターと協同し、市民からの学習相談及び、より良い学習情報を提供していく。
3. 地域課題に即したボランティア活動を目指した講座を開催し地域に学習成果を還元する。
4. 市民が参加できる小中学校との連携事業や地域各団体との共催による事業の開催。
5. 町内会連合会、各種団体、利用者代表と運営懇談会を開催し、質の高い事業運営を行なう。

特色ある事業

＜中学生避難所ボランティア体験講座＞

① ねらい

指定避難所の中学校が災害発生時の非難所開設時に中学生が災害ボランティアとして、何ができるか体験学習することにより自覚と自信を持ち、地域貢献ができるようになる。また、地域住民の防災意識の向上となる。

② 対象 茂庭台中学校生徒・地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 256 人

④ 概要

中学校の生徒が、災害時の避難所ボランティアをするための初心者訓練。学年別に仮説トイレ組み立て訓練、ミニ保育と妊産婦体験、非常食炊き出し訓練、応急手当訓練、災害時伝言ダイヤル訓練を体験学習した。

＜子育てひろばIN茂庭台＞

① ねらい

地域の子育て支援サークルの弱体化が目立つ中、0 歳から 3 歳の親子の孤立化を防ぐ狙いで、太白区中央市民センター、茂庭台児童館と共催で、たいはく子育てネットワーク企画員をコーディネーターとして子育て相談や交流の場を提供する。

② 対象 0～3 歳児の親子

③ コマ数、参加延べ人数 2 回 / 40 人

④ 概要

第 1 回「ママを楽しんじゃおう」と題し、手遊び・うた・子育て情報・ママだけの時間おしゃべりカフェ(託児付)を開催。第 2 回「ママを楽しんじゃおう PART2」では託児付講座を開催。いずれも地域の子育て中のママ企画員の意見を反映。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	4	5	3	10	6	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/moniwadai/index.html>

東中田市民センター

沿 革

東中田市民センターは、平成元年4月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。太白区の東南に位置するこの地域は、名取川の豊かな流れが太平洋に注ぐ河口に近く、今なお屋敷林のある民家が点在するなか、高層の市営アパートも建設され一時的に著しい人口の増加が見られたが、現在は漸増傾向にあり高齢化も進んでいる。

当市民センターは、地域のコミュニティ、文化、スポーツ、そして憩いの場として幅広い年齢層に利用されている。生涯学習事業においても、地域の特色を活かし、児童館や保健センターとの連携を図りながら、複合施設ならではの利点を活かした事業展開を目指している。

平成 20 年度事業実施方針

利用者の固定化の傾向がみられる現在、2007 年団塊の世代が大量に定年を迎えるにあたり、これまでの利用者も含めた幅広い年齢層に受け入れられるような事業として、地域住民が健康で有意義な人生を送ることが出来るような学習の機会を積極的に提供していく。

特色ある事業

<市民企画会議「どれ、みんなで音楽会」>

① ねらい

地域に住む音楽に関心のある者同士が、合奏や合唱を通して「みんなで音を楽しむ」を目標に市民参加型の音楽会を企画・運営し、お互いの学びの場にすると共に、地域づくりの機会とする。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 8 回 / 45 人

④ 概要

音楽会を開催することを目的に企画員を公募。手持ちの楽器や鍵盤ハーモニカなどの使われなくなった学校用楽器を持ち寄って、音楽経験や年齢を問わずに誰でも参加できる音楽隊を結成し、音楽会「どれ、みんなで音楽会」を企画運営した。

<メンタルヘルス講座「上手な聴き方と接し方」>

① ねらい

近年、核家族化の増加や個人単位での多様な生活様式により、お互いのコミュニケーションがとり難く孤立化してしまうことが多くなっている。そんな中で心の病を予防し、更に人との上手な接し方を体得していく。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 57 人

④ 概要

ストレスの解消法を学んだり、ロールプレイなどを交えて、メンタルヘルスの初期対応ができるようなスキルを学んだ。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	4	5	2	8	4	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/higashinakada/index.html>

柳生市民センター

沿 革

当市民センターは、平成9年4月住宅地・商業地として発展著しい市内最南端部柳生に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設してオープンした。

当地域は、自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。一方太白大橋の開通によりマンション・大型店舗などの建設が著しく急激な都市化が進んでいる。したがって、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の高度化・多様化した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

平成20年度事業実施方針

利用者の立場に立った「より開かれた市民センター」を目指し、町内会はじめ地域各団体サークルとの交流を密にして、協力関係の強化を図っていく。

小中学校、団体との連携事業を継続し、乳幼児・児童が多い地域特性に対応した子育て支援事業を展開していく。また、高齢化に対応した介護予防および介護問題に取り組んでいく。また若い世代の参加を促進するため夜間、土日の事業を展開したい。

特色ある事業

<柳生中学校開放講座>

① ねらい

「地域に開かれた学校」をめざす柳生中学校と連携し学校施設と人材を活用し地域との融和を図る。中学校との協議により地域の生涯学習への参加機会の拡充を図る。

② 対象 柳生・西中田地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 43 回 / 460 人

④ 概要

漢字検定講座、歴史検定講座、数学検定講座、英語検定講座、音楽鑑賞、篆刻、染色、理科実験、リズム体操、卓球、パソコン講座、料理講座

<柳生和紙みらい塾>

① ねらい

地域の文化である柳生和紙について学習しその伝統や活用方法を学び柳生和紙の伝統を守るきっかけ作りの場とする。また柳生和紙を通して広い地域や異世代間の交流を図る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 5 回 / 81 人

④ 概要

柳生和紙の里を訪ねて(紙すき体験)、柳生和紙を使った団扇や生活雑貨づくり、センターまつりへの展示

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	6	3	3	9	5	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citezen/WebPages/yanagiu/index.html>

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

沿 革

秋保市民センターは、社会教育法の制定に伴い、昭和26年4月秋保村公民館が設置され、昭和42年4月町制施行に伴い秋保町公民館、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により秋保公民館、平成元年4月に秋保市民センターと改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和52年3月旧秋保町時代に開設され昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により馬場公民館、平成元年4月に馬場市民センターと改称され現在に至っている。

湯元市民センターも昭和53年3月秋保町時代に開設され、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により湯元公民館、平成元年4月に湯元市民センターと改称され現在に至っている。

平成20年度事業実施方針

- ・秋保の持つ大きな地域資源である自然・風土・歴史を生かし、全市的な視点からも秋保の良さを実感でき、新たな行動、学習意欲に結びつく事業を企画・展開する。
- ・地域課題を地域の方々と共に考え、課題解決に役立つような事業企画を展開する。
- ・地域が広く、交通も不便なため、普段市民センター講座に参加出来ない方たちに参加してもらえるように、地域町内会や団体と協力し、馬場・湯元地区で出前講座を企画・展開する。

特色ある事業

<秋保ふるさと歴史散策「秋保郷土かるたを歩く」>

① ねらい

秋保郷土かるたを通し、秋保地区の歴史や文化財を再認識してもらう。また、秋保の歴史をさらに深く学び、住民同士や秋保の歴史に興味を持っている方々と交流を図る。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 5回 / 56人

④ 概要

秋保郷土かるたの会の方々による「秋保かるた」についての講話。その後、受講生を中心にかるたに詠まれた名所・旧跡について散策する場所を相談。地区ごとにルートを決め、講師の説明を聞きながら散策した。

<地域の豊齢者に聞く秋保の暮らし>

① ねらい

昭和初期から旧秋保町時代の町の様子や暮らし方を知ること、自分達の暮らしている地域に関心を深める。講話後の交流会で地域活性化や地域での問題について意見を交換し、郷土愛、住民意識を高め地域の一体化を促進する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 3回 / 45人

④ 概要

秋保を「長袋・境野地域」「馬場地域」「湯元地域」に分け、各地域から高齢者を講師に迎えての講話。記録写真等の資料を見ながら当時の秋保の暮らしについて聴き、毎回講話後に交流会を実施した。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	3	6	2	11	1	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/akiu/index.html>

富沢市民センター

沿 革

富沢市民センターは、平成13年11月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設し開館した。

富沢地区は、名取川・JR 東北線・国道 286 号線に囲まれた地域で、中央部を笹川が流れ、富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域である。単身世帯・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館し、生涯学習の拠点として活用されている。

平成 20 年度事業実施方針

事業実施にあたっては、これまで以上に生涯学習を通じた地域づくりの拠点としての市民センターが充分機能できるよう、地域の状況やニーズを的確に把握し、地域人材の育成や関係機関との連携などの運営手法を取り入れ、多様な学習ニーズに即応した学習の機会の提供と活動支援を行い、「全市重点事業」や「行政施策」を軸に事業の展開を図るものとする。

特色ある事業

＜地元野菜と秋刀魚に親しむ食育講座＞

③ ねらい

食生活の乱れや魚離れが叫ばれている中、地元の野菜や生の魚を調理する体験を通して食育を子どもの目線から広げると同時に地域住民との交流を図る。

④ 対象 富沢中学校 1 学年全員

⑤ コマ数、参加延べ人数 10 回 / 336 人

⑥ 概要

1. 野菜と魚についての全体講話(全 9 クラス)

「食育って?」「野菜果物たくさん食べていますか?」「お魚事情」

2. 地元野菜と秋刀魚を使った調理実習(クラス毎)

「秋刀魚の三枚おろし」「つみれ汁」

＜チビッ子夏まつり＞

① ねらい

市民センターで自主活動している育児サークルの参画により、サークル活動の場を広げ、地域の親子交流の機会を設ける。またジュニアリーダー・地域ボランティアの参加により地域活性化につなげる。

② 対象 未就学児と保護者

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 850 人

④ 概要

センター企画(大しゃぼん玉・ポップコーン・くじ引き・水ヨーヨーすくい)とサークル企画(おもちゃ作り・ミニカフェ・人形劇・先輩ママとの交流会・サークル情報掲示)・運営を行った。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
7	7	5	2	5	4	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/tomizawa/index.html>

泉区中央市民センター

沿 革

昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設され、昭和 43 年 7 月には、市名坂字東裏の現在地に移転し、今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。平成 16 年 1 月、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館としてオープンした。

当地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と仙台市の副都心として急速に発展した泉中央周辺の都市化との混在する地域であり、住民を取り巻く学習環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図るため、拠点館として機能がますます重要になってきている。

平成 20 年度事業実施方針

- ・ 現代の様々な問題や価値観の多様化に対応する事業を継続し推進していく。
- ・ 市民の主体的な活動を尊重し自己実現ができるように支援し、常にコーディネーターとしての役割を果たしていく。
- ・ 学校・地域団体・利用者の意見や要望、提言を受け入れ地域課題や市民ニーズの把握につとめ、事業に反映させる。

特色ある事業

<むちゅうーねっちゅーいずちゅークラブ>

① ねらい

大学生が地域交流をテーマに「気軽に来て皆で遊べる場」を企画運営する。大学生が事業運営のリーダーとして役割を果たし、社会参加の機会とする。

② 対象 近隣の小学校児童及び地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 185 人

④ 概要

大学生が当センターの全室に子ども達を楽しむ遊びのブースを開設し 40 人のボランティアと共に運営実施。小学生に日常とは異なる遊びの場を提供し、異世代・異学年・近隣小学校間の交流を深めた。

<あんだど語る仙台弁～あっぺとっぺ語んなよ>

① ねらい

転勤族が多い地域特性を活かし、新旧住民が楽しく参加できる講座を通して交流を深める。社会学級が地域に向けて講座を発信し社会教育力を向上させる。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 90 人

④ 概要

地域の社会学級と市民センターの共催で参加型の仙台弁講座を開催した。参加者それぞれがお国言葉を披露したり、ゲームを楽しむなど大いに盛り上がり、方言の持つ魅力を再確認する機会となった。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
5	4	4	2	4	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/izuchu/index.html>

根白石市民センター

沿 革

当市民センターは泉区西部に位置し、泉ヶ岳を背景に豊かな自然環境に恵まれている。
 周辺は古くからの田園地域と近年の開発による住宅地からなる。最近の来館者の構成は、公民館時代から利用してきた地域住民に加え、新興団地の住民が増えている。恵まれた自然や地域の伝統、ならびに人的交流を生かした各種事業を展開してきたが、今後もさらに地域住民や学校、町内会、商工会などと連携を図りながらそれぞれの特性を生かして、地域のコミュニティの発展に協力していく。

平成 20 年度事業実施方針

1. 市民がさまざまな課題に応じて学べるようになる。
2. 市民が学習に必要な情報を得ることで、主体的に学べるようになる。
3. 市民が学んだ成果を地域に生かせるようになる。
4. 市民が地域で学びの活動を広げるようになる。
5. 市民が質の高い市民センター事業を受けられるようになる。

特色ある事業

<昔ながらの豊かな食卓>

① ねらい

地元の農産物を使うことで健康に良い安全な地場産品を多くの人に紹介するとともに、忙しい毎日の中で昔ながらの「食」を学ぶことで生活の見直しを図る。

② 対象 成人 20 人

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 69 人

④ 概要

地域で採れた食材を使い、季節感のある健康食を学んだ。また、だんごさしなど、食に関わる季節の行事も体験した。

<伝統七夕づくりで知る根白石>

① ねらい

根白石に伝わる伝統的なミニ七夕飾りを、近隣の新興住宅団地の住民が手作りし地域のコミュニケーションを図るとともに、伝統に触れ、出来上がった飾りを根白石地区に飾ることとで団地住民と根白石地区との交流に役立てる。

② 対象 住吉台、館地域住民 各 15 人

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 95 人

④ 概要

鉢植の竹に飾る根白石伝統ミニ七夕まつりの由来をきいて七夕飾りを手作りし、参加者同士交流を深めた。出来上がった飾りは市民センターに展示した。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	5	4	2	6	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nenosiroisi/index.html>

南光台市民センター

沿 革

昭和52年4月、南光台公民館として開館し、その後、平成2年4月に南光台市民センターと改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。
また、昭和62年8月に泉図書館南光台分室がセンターに併設された。

平成20年度事業実施方針

住宅団地開発後45年以上経過し、急速に住民の高齢化が進んでいる。一方ではマンション建設により若年層の増加傾向も見られる。生涯学習社会が叫ばれている今日、仙台市市民センター運営方針をふまえ、「市民が学んだ成果を地域に生かすことができる事業」を中心にこれまで以上に地域団体との連携を強化し、「地域に親しまれる市民センター」として地域活性化に取り組んでいく。

特色ある事業

<市民企画講座「とことんみやぎ自慢」>

① ねらい

宮城に伝わる郷土料理を実演形式で地元講師より伝授してもらい、交流会を通し宮城の魅力を再発見する機会と良さを再認識の場を提供する。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 16人

④ 概要対象

宮城の特産物であるカキを使った料理や昔から伝授されている浜料理などの試食やカキ剥体験を行った。また、交流会では自己紹介を兼ねながら参加者のふるさと食やふるさと自慢を話してもらい、交流を図った。

<環境局共催事業「竹ランタンプロジェクト」>

① ねらい

地域の協力を得ながら竹と使用済みろうそくを使用し竹ランタンを作り、環境の体験学習により地域資源の再発見と交流を図る。

② 対象 小学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 2回 / 18人

④ 概要

使用済みろうそくをリメイクし、竹でランタンを作る。最終回は作成したランタンに火を灯し、ギター等の演奏や紙芝居を見聴きしながらひと時を過ごした。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	5	4	2	7	4	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/nankodai/index.html>

黒松市民センター

沿 革

当市民センターは、昭和 47 年 4 月開館の八乙女公民館(旭丘堤 1 丁目, 建物面積 144 m²)を前身とする。平成 4 年 10 月, 現在地(黒松 1 丁目, 延床面積 1,491 m²)に移転新築する。改称し黒松市民センターとして開館した。

平成 20 年度事業実施方針

1. 市民のライフステージごと, さまざまな課題に対応する事業の実施。
2. 市民が主体的に学べるように, 学習情報の収集と発信。
3. 市民が学んだ成果を地域に活かす養成事業, 主体的に企画・運営する参画事業の実施。
4. 地域の学習団体と連携し, 学びの活動を広げる事業の実施。
5. 広く地域の人びとから意見の聴取をし, 質の高い事業を実施。

特色ある事業

<-市民環境講座-昔のくらしから今のくらしを考えよう>

① ねらい

地球温暖化が問題視されているなか, 親子で一緒に環境について考える機会とする。
また, 昔のくらしの工夫を体験し現在の生活を見直す機会の一助とする。

② 対象 親子 10 組

③ コマ数, 参加延べ人数 1 回 / 13 人

④ 概要

昔のくらしを体験する題材として廃油ランプづくりとムシカマドを使いご飯を炊く作業をした。廃油ランプでは, 明るさと温かさが実感できた。ムシカマドでは, 枯葉や新聞紙で火をおこすことや, その火で炊いたご飯のおいしさを体験できた。

<防災講座「生きのこる 生きのびる 家族のために！」>

① ねらい

地震発生時に家族が生き残るために, 「自助」となるその対策や避難について防災の知識を学ぶ。

② 対象 社会学級生と地域住民

③ コマ数, 参加延べ人数 1 回 / 44 人

④ 概要

八乙女中学校区の 2 つの社会学級と黒松市民センターと一緒に企画し, 講座を実施。黒松中央町内会婦人防火クラブと泉消防署の協力の下, 自分達が考えた防災グッズの展示やアルファ米の作り方, 豚汁の炊き出し, 119 への通報訓練等を体験した。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	4	4	3	5	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kuromatsu/index.html>

将監市民センター

沿 革

昭和 47 年 11 月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場を「将監会館」として開館した。昭和 53 年 4 月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和 54 年 6 月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年 4 月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年 4 月「将監市民センター」と改称された。

平成 3 年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成 4 年 4 月新装開館し現在に至っている。当センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

平成 20 年度事業実施方針

地域のニーズを的確に把握し、地域資源の有効活用と各種団体との連携を深め、学習成果を地域に還元できるボランティアを支援・育成するとともに、地域住民の交流を促進する。

1. 幅広い年齢層の事業に取り組み、地域性をふまえた特色ある事業で住民同士の交流を図る。
2. 地域と各種団体との連携を密にしてボランティアの支援・育成に努める。
3. 地域の学校・町内会・サークル等の意見交換の場を設けて地域のネットワークづくりを図る。

特色ある事業

＜将監歴史のとびら＞

① ねらい

自分達の住んでいる地域の由来をひもときながら、将監・泉の歴史を学ぶことで、地域のよさを再発見し、地域への愛着を深める。

② 対象 成人

③ コマ数、参加延べ人数 5 回／97 人

④ 概要

将監周辺地域の貴重な史跡や資源について、座学と館外で学び、郷土理解を深めた。最終回は交流会を実施し、継続学習のための自主サークル「将監歴史探訪会」が発足した。

＜市民企画講座「わくわくママサロン」＞

① ねらい

市民企画会議「わくわくママサロン」により企画した、子育て世代のニーズを反映させた講座の開催。子育てに関する身近なテーマの学習を通して、仲間作りや社会参加の機会を提供する。

② 対象 未就園児をもつ母親

③ コマ数、参加延べ人数 4 回／62 人

④ 概要

託児付きで、簡単で楽しいお弁当作りや小物作りなどを学び、最終回には“ママの交流会”を実施し情報交換やゲーム等で交流を深めた。地域の子育て中の母親が心身ともにリフレッシュし、仲間作りをする機会となった。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	4	2	9	2	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/syogen/index.html>

加茂市民センター

沿 革

昭和 58 年 4 月、加茂体育館と併設された加茂公民館として開館した。その後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成 2 年に現在施設名に改称。平成 10 年には併設の加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成 5 年 4 月の長命ヶ丘市民センターの開館に伴い、現在は虹の丘・加茂・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺には加茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しており、また七北田川や丸田沢堤などの自然環境にも恵まれている。

平成 20 年度事業実施方針

成熟化が進む加茂、虹の丘地区と近年開発された上谷刈、みずほ台地区では住民の年代構成等に違いがあることから、そのニーズも異なっている。また、センターと距離的に離れている地域に対して事業への理解を深めることも重要となっている。今年度はこうした背景のもと、全市重点事業や市の施策を基本として、地域のより幅広いニーズに対応できるよう連帯等をさらに一歩進めながら、魅力ある身近で開かれたセンターを目指して事業の展開を図ることとする。

特色ある事業

＜長命館公園の魅力をみつけよう＞

① ねらい

身近にある長命館公園の自然の素晴らしさを知り、公園を介して地域住民のコミュニケーションの活性化を図る

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 45 人

④ 概要

地域のボランティア団体である長命館公園サポーターズクラブの方を講師とし、春には公園の桜・カタクリなどを鑑賞しながらの散策会、秋には長命館公園の発掘についての講話、冬には公園を散策しながら小物を集め、クリスマスリース制作を実施した。

＜加茂地域防災協議会共催「救急救命と応急手当」について＞

① ねらい

地震や災害、事故に備えいざという時に対応できるように成人向けと、普段見落とされがちな乳幼児の保護者向けの救急救命法、応急手当を学ぶと共に子どもの安全に対する理解を深める。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 441 人

④ 概要

成人向けの普通救急救命等の他・乳幼児向けの心臓マッサージの実技指導、家の中の危険箇所確認や誤飲・やけど等の対処法を学んだ。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	2	7	1	10	3	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/kamo/index.html>

高森市民センター

沿 革

当市民センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として平成元年4月高森公民館として開館した。その後、機構改革に伴い高森市民センターと改称された。

この地域は、昭和48年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか高森東公園や高森自然公園などには豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的である。その中で、地域住民の「新しいふるさとづくり」意識の高揚と交流の場として多くの方々に利用されている。

管内には、21世紀プラザ研究センター・仙台地域職業訓練センターがある。

平成20年度事業実施方針

親しまれ愛される市民センターづくりとして、地域住民の学習意欲に応えるべく事業の提供に心がける。特に、将来を担う子どもたちの安全・安心の取組みについて、地域や学校と連携しながら事業の充実を図る。また、事業を通じて地域住民の新しい学習活動への積極的な参加が定着してきており、学習した成果をボランティア活動として地域や学校に提供し、活力ある地域社会の構築を目指す事業に取り組む。

特色ある事業

<こども農園>

① ねらい

各自の耕作スペースで、野菜作りを通して野菜の成長を学び、収穫した野菜を調理して食べる。このことで未来を担う子どもたちが、食の大切さを実感し感謝する心を育む。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 4回 / 42人

④ 概要

畑にじゃがいもを植え、芽かきや草取りをしながら生育を観察し収穫までの農作業体験。子どもたちには、毎回観察日記を記入してもらい成長記録を残した。最終回に収穫物を使って調理実習を行った。

<わら縄をなってみよう！>

① ねらい

農家から分けてもらった稲わらを加工して縄をなうまでの行程を、わらの提供者と地元の縄ないボランティアの指導で体験学習をする。実技を通して伝統技術の継承を図り、子どもたちと地域のお年寄りとの交流を深める。

② 対象 小学生

③ コマ数、参加延べ人数 2回 / 65人

④ 概要

なわなひボランティアの指導で、高森小2年生の生活科、高森東小5年生の総合学習の授業として実施。昔の農作業であるわらすぐり、わら打ち、なわなひを体験し、自分のなった縄でなわとびをした。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	5	0	10	6	8

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/takamori/index.html>

松陵市民センター

沿 革

松陵市民センターは、泉区の北東に位置する松陵ニュータウン内にある。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の6つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれている。付近には、街路樹ロードとスポーツ施設のある松陵公園があり、幅広い年齢層の方が自然を愛し、親しんでいる姿が見られる。

当施設は、生涯学習の拠点として、市民に大いに利用され親しまれることを目指して、職員一丸となって事業推進に努力している。

平成 20 年度事業実施方針

・地域の小中学校・町内会・各種団体との連携をより深め、懇談会・企画検討会を実施し、ニーズに適合した講座を土日、夜間も開講し、青少年から高齢者・障がい者までの学びのバリアフリーを目指し、地域活動の活性化を促進する。

・地域・市民センターの身近な課題を把握・分析すると共に、これらの課題を解消すべく、懇談会を実施し、ニーズに適合した積極的な市民センター運営を図る。

特色ある事業

<第 17 回松陵ふれあいコンサート>

① ねらい

小学生から社会人まで地域にかかわりのある人々が、演奏や合唱に参加し、また鑑賞を通して芸術性を高めるとともに交流を図り、地域を愛する意識を高める機会を提供する。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 600 人

④ 概要

会場は松陵小、松陵西小、松陵中を持回りで開催。第 1 部 吹奏楽小合同(高校生から社会人の演奏)第 2 部 合唱・手話ソング(小学生から社会人の合唱、手話ソング)第 3 部 吹奏楽大合同(小学生から社会人の演奏)で構成されるコンサート。

<障がい者学習支援講座「伝統文化にふれてみよう」>

① ねらい

障害者への生涯学習の場の提供と学習を通し、地域住民と交流することで学びのバリアフリーを目指す。

② 対象 15 歳以上の障がいのある方

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 70 人

④ 概要

日本の伝統文化である茶道・和装等にふれ、最終回は公開のバリアフリーコンサートで地域住民との交流を図った。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	2	4	2	12	3	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/syoryo/index.html>

寺岡市民センター

沿 革

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置する寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和 50 年代後半から急速に発展し団地としては成熟している一方、新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、対照的な年齢構成となっている。

また、近くには宮城県図書館を始め、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設がある他、平成 20 年秋には大規模商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。緑豊かな自然を残しつつ、今後ますます発展と活性化が期待できる地域である。

平成 20 年度事業実施方針

住民の声を反映した事業と、地域・社会課題を明確化した上で市民参画型事業を展開する。適正で地域を意識した視点での情報提供と、地域に根ざした情報収集に努める。積極的に地域人材の活用を図り、学んだ成果を生かせる環境づくりに取り組む。住民の生涯学習活動への参加の拡大と相互交流を深め、自助・共助の風土づくりを推進する。町内会等諸団体と連携してコミュニティ活動の質を高め、よりよい地域社会の形成に貢献する。

特色ある事業

<紫山・寺岡コンサート>

① ねらい

地域の青少年等の日頃の練習成果を発表する場を提供する。

音楽を通して青少年と地域住民の交流を図る。

市民センター、学校、町内会、地域諸団体が協働することで、地域力を高める。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 740 人

④ 概要

地域の小、中、高校生の有志と地域で活動しているサークルに加えてゲストを迎え、地域諸団体及びボランティアの力を結集して音楽会を開催した。

<寺岡山の自然に学ぶ>

① ねらい

寺岡の地域資源である寺岡山や紫山公園周辺を散策し野鳥の観察をすることで、身近な自然環境と環境保全の大切さを学ぶ機会とする。また、野鳥マップの作成をとおして地域の魅力再発見と再認識をし、地域に愛着を持ち、受講生同士の交流を深める。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 4 回 / 33 人

④ 概要

四季にわたって地域の野鳥を観察し、講師が解説を加えることで自然環境について理解を深め、野鳥マップ作成をとおして受講生同士の交流と受講生が学んだ成果を発表する機会とする。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	4	6	2	7	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/teraoka/index.html>

長命ヶ丘市民センター

沿 革

当市民センターの周囲は団地で形成されており、平成5年4月、泉区10番目の市民センターとして開館された。利用者の65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り10%が他地区からとなっており、地域に根ざした市民センターと言える。

地域優先の13サークルをはじめ、常時80以上のサークルが活動しており、本年度も47,000名を超える利用者があった。当市民センターは、子どもから高齢者までのあらゆる住民の層からの支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、益々その役割機能は、重要性を増している。

平成20年度事業実施方針

当市民センターとしての力点を、「学校や地域と連携した事業の実施」「仙台市すこやか子育てプラン第3期行動計画の実施」「地域人材の地域社会還元への推進」「こどもの読書環境の整備支援」などに置き、「実行委員会や地域懇談会」等の手法も取り入れ、仙台市の重点事業の推進や行政施策に配慮しながら充実を図っていく。また実施に当たっては、当市民センターが果たすべき役割をより一層明確にしてゆきながら実行していく。

特色ある事業

＜災害想定体験講座＞

① ねらい

想定される大災害に対応すべく、地域防災訓練を実施し、体験を通して安全で安心して暮らせる地域づくりを目指す。同時に各世代に、自らの地域づくりへ積極的な参加機会を提供し、家族と地域とのより一層の連携を培う。

② 対象 長命ヶ丘住民

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 516人

④ 概要

連合町内会、地区社会福祉協議会、小・中学校PTA、子ども会育成会、泉消防署加茂出張所、長命ヶ丘商店会、仙台市水道局、泉区区民生活課などの参加・支援を得ながら、13:00～21:00、避難・救出救護・簡易トイレ作り・給食・避難所体験訓練などを実施。

＜長命合唱隊を作ろう＞

① ねらい

当地域には所謂音楽人口が多く、また音楽サークルも数多くある。それらの人達が音楽を通して新たな交流を深める場として、合唱隊を編成しながら音楽会で発表する機会を提供し、新たな生涯学習としての活動を促す。

② 対象 音楽の好きな小学生以上

③ コマ数、参加延べ人数 6回 / 141人

④ 概要

地域在住の声楽家の指導により、毎回発声練習を最初に行い、その後に2月28日実施の「春の音楽祭」をイメージしての合唱練習を実施。参加者も回を追う毎に増え、音楽会の大成功を期に、歌唱サークル「るんが・びーた(長命)」が誕生。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
3	3	5	2	9	2	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/webpages/chomeigaoka/index.html>

松森市民センター

沿 革

当市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。

市民センターの北側に、戦国時代の武将である国分氏が居を構えた松森城跡を仰ぎ、北東には鶴が丘団地、東西に細長く松森地区がある。近年大型店舗の進出や幹線道路の整備が進み人口増加の傾向にある。一方南側は、一面広大な田園地帯となっており、七北田川・仙台バイパスまで眺望が広がり、自然環境にも恵まれている。施設の特徴としては、市民が気軽に利用できる親子室・娯楽室・図書室・市民活動室や広々としたラウンジがある。地域のニーズに応える生涯学習の拠点施設として、相互交流の輪を持てる多様な事業を提供・支援している。

平成20年度事業実施方針

校区内外からの利用者が増加していることから、地域の資源を活かしながら市民の学習意欲に対応し、市民が互いに交流できるよう「輪」を意識した事業の展開を推進する。

- ① 学校や地域諸団体と連携し、まなびのコミュニティー推進事業
- ② 市民企画・参画をとおり、市民が学んだ成果を生かせる事業
- ③ 地域人材活用事業

特色ある事業

<まなこみネット鶴が森推進事業「夏のお楽しみ会」「冬のお楽しみ会」>

① ねらい

地域の団体及び個人が連携してネットワークを広げ、地域活性化を図り、子どもたちの健やかな育ちを支援すると同時に異世代間の交流を図る。さらには、防災用鍋やコンロを使用し炊き出し訓練を行い防災の意識を高める。

② 対象 地域の小学生とその保護者

③ コマ数、参加延べ人数 2回 / 311人

④ 概要

子供たちの見守りとすこやかな育ちをテーマに、地域の異世代間交流を図るために「夏のお楽しみ会」では肝試し体験、炊き出し訓練・試食を実施。「冬のお楽しみ会」では小正月の講話や餅つき・だんごさし体験を実施した。

<市民企画講座「コンサート in まつもり」>

① ねらい

「コンサート in まつもり企画会議」を踏まえ、地域の輪を念頭に、身近な施設で音楽に触れる機会を提供し、地域の方々の交流の場として市民センターを気軽に訪れるきっかけとする。

② 対象 地域住民どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1回 / 154人

④ 概要

企画委員の積極的な運営のもとで、地域交流を図るために、ビッグバンドのジャズコンサートを実施した。

【平成20年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
2	3	6	2	6	4	6

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/matsumori/index.html>

桂市民センター

沿 革

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興団地で、高齢化率は仙台市平均の半分という若く活気にあふれた街である。

児童センターとの併設館ということもあって利用者の年齢層は乳幼児から高齢者まで幅広く、19年度はこれらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、生涯学習の拠点を目指して取り組んできた。

20年度は、今まではほとんど手つかずだった将監地区との交流と連携を目指すとともに、桂地区の諸団体とは更なる連携を深めながら生涯学習環境の整備・拡充に努め、将監・桂の地域住民の交流促進および自主的学習意欲に応えられるよう市民参画や学社連携に努める。

平成 20 年度事業実施方針

- ・ 地域課題を明確にして住民参加型の事業を展開し、気軽に学べる機会を提供する
- ・ HPによる学習情報の発信、相談業務の充実、地域諸団体とのネットワークを構築する
- ・ 新規ボランティアの育成を行い、学んだ知識を実践できる機会を創出し、支援する
- ・ 託児付、手話付、夜間、土日開催等、講座の選択肢を広げ、学びの活動の拡大に努める
- ・ 地域の諸団体や関係機関との連携を密にし、より質の高い事業の実現を図る

特色ある事業

<市民企画講座「音楽が生まれる街—地域をつなぐ桂ロビーコンサート」>

① ねらい

ロビーコンサート企画会議を開催し、サークルによる日頃の練習成果を発表する場の提供と地域住民の気軽な参加を促す。また、地域の音楽家を掘り起こし、より質の高い音楽の提供と地域住民相互交流の一助とする。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 6 回 / 553 人

④ 概要

プロの演奏家によるピアノ独奏やバグパイプの演奏、弦楽器やピアノによる室内楽とソプラノ歌手による独唱、ゴスペル合唱、フルート合奏など多様なコンサートを実施し、地域住民との交流を図った。

<桂の森のキッズランド>

① ねらい

隣接する桂こどもの城保育園・桂児童センター・桂社協(子育て支援委員会)との共催により、桂地区においての「こどもが明るく心豊かに育つまちづくり」の一助とする。各組織の広報力を活かして広く門戸を開放し、より多くの人々に楽しんでもらい主催団体の存在と事業をアピールする機会とする。

② 対象 どなたでも

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 450 人

④ 概要

参加型ミュージカル「ヘンゼルとグレーテルの大冒険」

「劇団おむらいす」による参加型ミュージカルで楽しいひと時をすごした。

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
4	4	5	2	5	3	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/katsura/index.html>

南中山市民センター

沿 革

当市民センターは南中山団地の中心部に位置し、南中山中学校区における南中山、北中山団地の2連合町内会傘下 14 町内会と西中山町内会総計 4673 世帯、12,397 人を対象範囲としている。さらに新規住宅の建築も盛んで人口も増加傾向にある。

当市民センターは、昭和 59 年にオープンした「泉中高年齢労働者福祉センター（サンライフ泉）」が平成 15 年 3 月をもって閉館した後、施設改修を行い、平成 15 年 11 月 13 日に「南中山市民センター」としてリニューアルオープンした。地域には障害者関係教育機関があり、住民や小中学生、大学生などと障害者との交流も活発に行われるなど、地域住民の市民活動も活発で、市民センター活動への期待と関心も大変高い。

平成 20 年度事業実施方針

1. 地域連携による現代的課題への取り組み
2. 市民ニーズに即応できる学習情報の収集と提供
3. ボランティア活動の支援
4. 南・北中山小学校こどもたちとの交流事業の推進、文化祭、音楽コンサートの実施により市民センターが地域づくりの拠点を担う役割の推進

特色ある事業

<南中山・北中山小学生交流会>

① ねらい

南中山小、北中山小の児童が学校を越えて交流できるイベントを南中山と北中山の小中学校区子ども会育成会、おやじの会と企画し実施・協働することにより地域の活性化を図る。

② 対象 南中山・北中山小学校児童

③ コマ数、参加延べ人数 1 回 / 59 人

④ 概要

南中山小、北中山小児童合同による綱引き大会、防災倉庫見学と炊き出し訓練をかねた交流食事会。

<いずみ中山地域人材リレー講座>

① ねらい

いずみ中山地域には、歴史や民族等、専門的な知識を持つ住民がいる。こうした方々が講師となり、リレー方式でつないでいき、地域人材の発掘、地域交流、地域の活性化を図る。

② 対象 地域住民

③ コマ数、参加延べ人数 3 回 / 67 人

④ 概要

講話「民俗学の旅～根白石の人々の生活を支える中山街道」：講話「四百字にこめたコラムの面白さ」：講話「ジャワからマタハリ（太陽）連れて嫁がきた」

【平成 20 年度 事業数】

家庭教育 推進事業	青少年健全 育成事業	成人学習 振興事業	高齢者学習 振興事業	地域社会教育 推進事業	民間指導者 育成事業	学習情報提供 学習相談事業
1	3	4	2	8	5	5

館ホームページアドレス

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/minaminakayama/index.html>

3. 重点課題事業の実施状況

重点事業とは、市民や団体が、知縁(学習, ボランティア, サークル, 学校, 地域団体等)を活かして、社会とのかかわりをより深めていくことを目的として、市内の全市民センターに義務付けられている事業。平成 20 年度については、以下(ア)～(エ)の事業が重点事業となっている。

(ア) 学校・地域との連携事業

学校と連携した事業の実施(学社連携・融合事業)

学校等との連携を図りながらさまざまな事業に取り組み、学校教育と社会教育の融合を推進する事業

(例)学校の総合学習・生活科や休日を利用した、環境、防災、伝統文化などの学習テーマや体験学習

地域の学習団体と連携した事業の実施

学びのコミュニティ事業の実施

(イ) 市民が学んだ成果を地域社会に生かす事業

ボランティア養成講座の開催

学習成果や自己の経験を生かし積極的に地域社会に関わる人材の育成を図るため、さまざまな生涯学

習ボランティアを養成する講座

(例)託児ボランティア、図書ボランティア、読み聞かせ、絵手紙、おもちゃドクター、歴史ガイドなど。

市民による地域情報の発信

(ウ) 市民参画事業 (101 ページから一覧を掲載)

市民が企画・運営する講座の実施

学習者の主体性を涵養し、積極的に社会に参画する人材の育成を目指した企画など

生涯学習事業の企画の公募

(エ) 懇話会・事業運営懇談会 (107 ページから一覧を掲載)

市民センター事業運営について、地域住民の意見・ニーズを聴取・反映し、地域に根ざし開かれた市民センターを目指すことを目的とした地域懇談会等

【市民企画講座実施状況】

館名	事業区分	事業名	事業の主な内容	企画／講座	募集形態	回数	参加延人数	参加実人数
青葉区中央	民	青葉区検定クイズをつくろう	青葉区を楽しく学べるようにクイズをつくり、そのクイズを使ったイベントを企画した	企画	公募	11	165	17
	成	市民企画講座「クイズラリー」	「青葉区検定クイズをつくろう」で作成したクイズを活用し、家族や友だちと青葉区中心部をウォークラリーした	講座		1	20	20
	民	「青葉区検定クイズラリー」からの自主グループによる企画会議	自主グループ「すくすくすのき」として、自分たちの学んだことを生かして講座の企画会議を開催した	企画	その他	7	84	12
	民	企画スタッフ会議	講座の企画・運営・実施と体験。今回はエコについて学ぶ	企画	公募	8	24	3
	成	市民企画講座「あなたに必要なエコさがし」	環境に配慮する意識をそだてるために食・ゴミ問題のエコについてそして時間の活用方法について学ぶ	講座		3	43	24
柏木	民	市民企画会議「ウェルカム」	仙台に転入してきた向けの講座の企画会 ふれあい祭り参加・企画会からできた講座の受講生との交流のための郷土料理の勉強会	企画	選任	9	51	9
	成	ようこそ 仙台へ	新規転入者が地域になじめるよう、市民企画会議で検討した仙台の郷土料理・歴史・お祭り・ごみ出し等生活に関する講話や見学	講座		8	139	18
北山	民	市民企画「コンサート企画し隊」	2月に開催するコンサートについて企画会議、当日の運営と反省会。	企画	公募	12	41	4
	地	北山交流コンサート「CHANGE」	木管・インドネシア楽器・ベトナム琴・和太鼓などの演奏と外国人のダンスを交えたコンサート。	講座		1	80	80
福沢	民	市民企画会議「コンサート」	市民参画によるコンサートを行うことで、市民センター事業への積極的な参画と協働を推進する	企画	公募	5	14	4
	成	市民企画講座「夕暮れ音楽会」	センター事業への積極的な参画と協働を推進し、夜間講座を行うことで新たな利用者拡大を図る	講座		1	80	80
旭ヶ丘	民	一人暮らし高齢者企画会議	地域の方の参加を得て、一人暮らしの高齢者の課題を解消するためにアンケートを実施し企画運営を行った。	企画	公募	4	50	25
	高	アートde脳トレ～あなたの脳は眠っていませんか～	認知症予防に繋がるクリニカルアートで年賀状を作成し、作品を鑑賞しながら交流を図り、地域コミュニティの活性化につながった。	講座		2	19	12
	民	市民企画講座 台原森林公園プロデュース隊	地域の貴重な資源である台原森林公園の見直し、有効利用するために企画してもらい地域活性化を図った。	企画	公募	5	64	17
	地	早春の台原森林公園を歩く	森林公園の活用方法として、ノルディックウォーキングを実施し地域の資源の有効活用を図るとともに地域活性化につなげた。	講座		2	56	32
三本松	民	市民自主講座	地域に居住する子育て中の母親が必要としている情報やこれからの育児サークル支援について検討した。テーマの絞込み、企画書の作成、実施時期の検討	企画	公募	4	21	6
片平	民	市民企画会「仙台の魅力再発見～エコライフ編」	「環境の観点から仙台の魅力再発見」をテーマに、仙台市環境局環境部環境都市推進課との共催で行う市民企画会議	企画	選任	7	27	4
水の森	家	「笑顔のママって大好き」	講話「笑顔で子育てをしよう」・ワークショップ・ネイチャーアート・おやつ作り・親子あそび	講座		6	151	28
	民	男の井戸端会議	地域の男性達にセンターの役割やあり方を考えてもらい、事業企画の提案を促す。企画のための討議ほか	企画	公募	7	36	6
	成	水の森のセカンドライフを楽しむ	講話「水の森公園を知る」キャンプ場にて調理交流	講座		2	30	15
貝ヶ森	民	たのしいまちづくり企画会	貝森・国見・八幡・地域の方と話し合い地域の特性・問題点を探り、貝ヶ森が元気になる事業を企画。企画講座「貝ヶ森仙台弁民話会」を実施	企画	その他	5	58	12
	地	貝ヶ森仙台弁民話会	貝森・国見・八幡・地域の方と話し合い「笑い＝スマイル」がテーマとなる。身近な仙台弁の民話を行い受講生同士の交流を深める。	講座		1	37	37

中山	民	市民企画講座「中山シニア塾」	地域の高齢者が自らの視点で考え講座を企画する企画会議・講座開催に向けての話し合い。	企画	公募	1	24	24
	高	エンジョイ・シニアライフ「生涯現役をめざして！」	市民企画講座「中山シニア塾」の受講生による企画講座の実施。生き甲斐をもち自分の体力に合わせた生活を維持する為に、日常生活に密着した健康体操と食生活に関する講座の実施。	講座		1	24	24
折立	民	市民企画会議「地域を元気にしよう」	地域内の活性化に向けて、地域住民が主体となり企画運営を考えた。	企画	公募	5	34	7
	地	みんなでつくろう！私たちの紙芝居	前年度の市民企画会から誕生した講座で、地域内にある昔話などをテーマにした紙芝居を住民の手で作成した。	講座		10	51	6
	民	三館連携事業市民企画会「蕃山を知ろう！」	広瀬・落合と連携し蕃山の魅力を再発掘しながらその価値観を地域住民に発信する企画を立てるための学習と話し合いを持ち市民企画講座開催に繋がった。	企画	選任	5	31	7
	地	三館連携事業市民企画講座「蕃山を知ろう！」	三館連携事業の市民企画会による講座で、地域の山「蕃山」の館外学習、蕃山にまつわる話のシンポジウム、参加者の交流会を実施した。	講座		4	186	123
広瀬	民	三館連携事業市民企画会「蕃山を知ろう！」	折立・落合と連携し蕃山の魅力を再発掘しながらその価値観を地域住民に発信する企画を立てるための学習と話し合いを持ち市民企画講座開催に繋がった。	企画	選任	5	31	7
	地	三館連携事業市民企画講座「蕃山を知ろう！」	市民企画会で企画した事業で蕃山の歴史的価値や魅力を地域に発信するため、蕃山の古道を歩き、公開講座シンポジウムと写真展を開催した。最後に懇話会で振り返りと今後の活動について話し合った。	講座		4	186	123
宮城西	民	市民企画会「宮城西探訪」	探訪で素材を掘り起こす為の会議、探訪をしマップを作り掲示した	企画	公募	17	143	9
	成	市民企画講座「西紀行」	「宮城西探訪会」で企画し西地域の歴史や古道を探訪・記録編集し市民まつりなどで学習発表した	講座		7	91	13
大沢	民	市民企画大沢畑で地域力UP	野菜づくりを継続して学んだ市民が中心となり企画員を構成し、多角的な展開で活動の活性化を学習成果として地域に還元できるよう企画する。	企画	選任	7	108	16
	民	情報発信「地域畑のすすめ」	大沢の畑で継続して、野菜づくりや仲間づくりを学んできた市民が、手軽に生涯学習として取り組める野菜づくりや仲間づくりの楽しさをまとめ、情報として冊子にして地域に発信する。	講座		11	167	16
落合	民	三館連携事業市民企画会「蕃山を知ろう！」	折立・広瀬と連携し蕃山の魅力を再発掘しながらその価値観を地域住民に発信する企画を立てるための学習と話し合いを持ち市民企画講座開催に繋がった。	企画	選任	5	31	7
	地	三館連携事業市民企画講座「蕃山を知ろう！」	館外学習での蕃山散策や写真撮影、公開講座でのシンポジウムや、みやぎ龍神太鼓絵巻物や演技で、蕃山の魅力を次世代に伝える事ができ、自主サークルが立ち上がった。	講座		4	186	123
吉成	民	市民企画委員会（吉成子育て同盟）	子育てをする中で、子どもがいても地域に何ができるかを考え講座を企画した。	企画	公募	6	51	9
	成	市民企画講座子どもと歌のボランティア	乳幼児を連れて地域の老健施設へ出向き、歌と手作り小物をプレゼントするボランティアを体験した。	講座		6	57	17
	民	市民企画委員会（地域の環境について）	地域の抱える環境問題を、地域としてどのような解決策があるかを話し合い、地域住民を対象として、ゴミに対する意識・啓発を発信する講座を企画した。	企画	公募	5	25	5
	地	みんなで考える「ゴミ問題」	市民企画委員の企画による講座。環境局によるゴミ分別や資源化についての講話と処分場見学、参加者による環境標語づくりと設置。	講座		2	55	39
木町通	民	市民企画会議	地域の課題、子育て支援をテーマとした事業を地域住民の手により企画・運営	企画	公募	6	27	6
	家	添加物ゼロおいしい・かわいい・かんたんママのcookinggood!!（市民企画講座）	幼児の保護者を対象に子どものお弁当作り、おやつ作りと「食育」に関する講話とコンサートを実施	講座		3	80	80
中央	民	なつかし遊び復活実行委員会	小学生のための講座「東口ゆうえんち」の企画を話し合い、当日の運営を行った。	企画	その他	15	138	17
	青	東口ゆうえんち	ドッジボールや縄跳び、ダンボール工作、お化け屋敷をして異年齢交流を楽しんだ。	講座		3	176	176

高砂	民	市民企画講座企画会 充実した老後をおくるために	高齢化社会に向かってさまざまな問題・課題があるが健康で充実した生活を送れるように企画員と話し合いをかさねた。地域の自然環境に着目し「七北田川の自然」をテーマにし内容や講師の選定等をした	企画	公募	6	18	3
	地	市民企画講座 「七北田川の今昔」	市民企画会で地域の自然環境の変化を危惧する意見があり、七北田川の自然環境を知るために過去から現在への移り変わりを聞き、環境保全のための意識を高め今できることについて考える機会を持った	講座		1	20	20
岩切	民	「他人事ではない！ 介護を学んでみよう」企画 会議	介護講座の企画・準備・運営・反省を行うなか、積極的意見の交換を行った。	企画	公募	5	13	3
	成	他人事ではない！ 介護を学んでみよう	介護保険に関する講話・介護予防についての講話・介護体験・介護施設見学を行い、いざというときのための備えとした。	講座		4	84	24
鶴ヶ谷	民	鶴ヶ谷ときめきコンサート企画委員会	コンサート実施計画・運営計画等の話し合い。	企画	公募	4	32	8
	地	みんなで創ろう、鶴ヶ谷音楽会 鶴ヶ谷ときめきコンサート	地域内教育機関・地域住民が開催協力。プラスバンド、コーラス、ジャズなどによるコンサート。幼稚園児、中学生も参加。最後には会場全体で合唱。	講座		1	600	600
榴ヶ岡	民	市民企画 「ともに創ろう、まなびの場」	定年後の男性のセカンドライフのあり方を探り地域活動、ボランティア活動への取り組みなどを話し合い、講座の企画・実施につなげた。	企画	その他	5	48	10
	成	市民企画 「男性のための雑穀食育講座」	伝統的な食材「雑穀」を取り入れた調理実習を行った。健康的な食生活を考えると共に講座を通して団塊世代の人たちがこれからの生活設計や地域とのつながりを考える機会となった。	講座		2	34	17
東部	地	東部さくらコンサート	市民企画講座。センター利用サークル、地域在住演奏家、地元小学校プラスバンドの出演を得て、地域住民の交流の場としてコンサートを開催した。	講座		1	150	150
	民	市民企画 「ふるさと梅田川」	地域の素材である梅田川を守り、受け継ぐための具体的な講座を企画した。	企画	公募	9	45	6
	青	うめだ川ってどんな川？ ～知って見て絵にしよう～	地域の子どもの梅田川に対する親水意識を高めるため、観察やウォーキング、写生などの体験をした。	講座		2	29	15
幸町	民	市民企画講座企画委員会 市民企画講座	地域の特性・課題を生かした企画について話し合う	企画	公募	8	36	5
	地	「国際理解島国的ってなあに？大陸的ってなあに？」	大陸と島国に住んでいる人たちの考え方・文化の違いについて講話・ディスカッションを通して学ぶ	講座		2	25	13
田子	民	市民企画 田子を愛する住民塾	懇談会による課題提起の解決へ市民協働による企画を行った	企画	公募	12	93	10
福室	民	市民企画会 「楽しく防災を学ぼう」	今年はテーマを設け、より地域に根ざした課題解決に向け、講座を開催するための企画会とする。	企画	公募	11	31	2
	地	市民企画会 「楽しく防災を学ぼう」～災害に備えた事前準備のために～	災害から自分自身や家族の身を守る大切さを学び、さらに近隣との共助に必要性を認識し、一人一人の防災意識を向上させ継続的に学習する場を提供する。	講座		2	26	13
若林区中央	民	市民企画会 若林をもっと知ろう	地域コミュニティが希薄になっている現在、地域課題や生活課題を話し合い講座の企画、立案、実施を行う。	企画	公募	7	19	3
	成	市民企画講座 「アツ」とたまげた若林～ここさもあるんだようまいもの！～」	若林区は、今でも数多くの伝統技や工芸品を見ることが出来る。また、広大な田園地帯も広がり、米や野菜の生産も盛んである。皆さんに自慢したい数多くのものの中から、今回はおいしいものを紹介し、地域を見直す機会とする。	講座		3	31	11
七郷	民	図書まつり企画会	センター内図書室を会場にした「図書まつり」開催のための企画会議。図書まつり実施の反省会など。	企画	公募	12	63	6
	地	図書まつり	図書まつり企画会の提案により「七郷かるた」取りや折り紙、紙相撲などの内容で実施。	講座		1	41	41

荒町	民	荒町ママネット (ママの企画室)	自分たちでみつけた課題での学習の機会を支援するとともに情報交換の場を提供する。	企画	公募	15	74	7
	家	広げよう！ママネット 子育ての輪	子育て中孤立しがちな親子のために、安全で清潔な場所を提供し、集って思いっきり体を動かし交流してもらう。	講座		4	89	31
	民	あらまち子ども企画室	助言者にジュニアリーダーや地域人材を活用し、地域の小中学生が市民センターまつりへの出店を企画・実施することで「地域のまつり」としての意識づくりを行う。	企画	公募	8	43	6
	青	あらまちキッズカンパニー	子どもたちに模擬店の企画・広報・運営をさせることで子どもの自主性・主体性及び社会性を養う。	講座		5	26	10
六郷	民	市民企画会 「六郷を探る」	「六郷を探る会」のメンバーと共に、地元民と六郷に関心のある参加者が視点を交えながら六郷の良さを再認識できる座談会を地域テーマを考えて企画・運営する。	企画	選任	6	63	63
	地	公開講座 「六郷を探る」	地元住民と六郷に関心を寄せる市民が視点を交えながら六郷の良さを再認識できるように、公開講座を開催。「六郷十景」の写真を募り、六郷のビューポイントを地域住民と共に探り、更なる地域活性に繋がります。	講座		1	45	45
沖野	民	市民企画会議	市民と協働して地域課題などについて理解を深めることをねらいとし、講座などを企画する会議とする。	企画	公募	6	80	15
	地	防災力アップ ～沖野キャラバン隊～	地域防災意識の向上を図る為の演劇の上演	講座		12	245	108
	地	きれいな町 ～マナーアップ大作戦～	地域を散策して環境問題を考えるきっかけとなるようマップを作成する	講座		4	84	42
	民	地域見守りたい養成講座企画会議	地域に根ざした活動に関心を持つ人達が、自ら講座を企画する会議	企画	公募	6	30	5
	民	お花で地域美化とコミュニティ	園芸の基礎を学び環境美化とコミュニティづくりに役立て寄植えや公園の花壇作りをする	講座		3	71	30
若林	民	市民企画会議 「一緒に作りませんか交流広場」	地域ニーズを反映させた世代間交流や文化・行事の伝承の企画を考え話合った。	企画	公募	6	31	6
	地	昭和夏ものがたり	昭和30年代の時代設定の夏祭りの形に変えて「交流広場」を再現し、地域交流の原点を振り返りこれからの地域交流のあり方を考える場を提供した。	講座		1	260	260
太白区 中央	民	市民企画会議「託児付事業を考える」	子育て中の保護者が企画員になり、子育て中でも親がいきいきと心豊かになれる講座を企画した。また、会議の中で交流を図りネットワークの拡大に繋がった。	企画	公募	9	60	11
	家	子育てママの部活動	子育て中の保護者同士が豊かな人間関係づくりのヒントになる講座を合唱・フィナンシャル・華道などの「部活動」を取り入れて開催した。回を重ねるごとに参加者の笑顔が見えてきた。	講座		5	52	15
	民	市民企画会議 「団塊世代の生き方を探る」	市民企画について、ねらい等を共有しながら会議への認識を高めた。企画員のための学習会を設けて企画書づくりに望んだ。会を重ねることに楽しむ会に繋がっていった。	企画	公募	6	34	7
	成	セカンドライフ これからの楽しみ方を描く	市民企画の講座、①みんなでワイガヤ語り合おう②パネルディスカッション「幸せのカたち探そう」③体験活動④ワークショップ「新しいプランを話し合おう」のテーマで料理や体験活動の機会提供し、定年後の生き方を探った。	講座		4	39	12
生出	民	「いきいき坪沼っ子アントレ」 企画検討委員会	起業活動体験プロジェクトチーム(いきいき坪沼っ子アントレ)をつくり、企画・実施に関わる。実施のための企画検討会	企画	その他	4	24	6
	青	いきいき坪沼っ子アントレ	米・野菜販売のリハーサルや袋詰め等の準備作業・コミュニティまつりに出店参加・ふりかえりと収益金の使い道や今後について話し合い	講座		3	93	35
中田	民	まちづくり検討会 中田のまちを考える	出来るだけ多くの市民が参画して安心・安全なまちづくりを進めていくため、団塊世代を中心に市民参画でまちづくりを考える	企画	選任	2	12	9

西多賀	民	市民企画会議 「子育てが楽しくなる講座を 考えよう」	子育てが楽しくなる講座を企画するために話し合い を重ね、「環境」をテーマに「みんなでチャレンジ、エ コでガーデニング」の講座を実施した	企画	公募	10	44	7
	成	みんなでチャレンジ！ エコでガーデニング	市民企画講座として、生ゴミの処理の仕方を学び 実際にガーデニングに活用した	講座		2	36	20
八本松	民	市民企画会議 体にいいこと考えよう	健康に関する問題について地域住民同士がともに 考え、健康に関する講座を実施するための話し合 い。 実施計画の作成、実施、反省会	企画	公募	6	17	4
	成	市民企画講座 のんびりストレッチ	家庭で一人でも気軽にとり組める健康運動を健康 増進センターと仙台市体育館運動指導員より学ん だ	講座		2	25	18
八木山	民	子育てママ応援講座企画 員募集 「八木山界隈ワイワイ TALK」	核家族化により子育ての環境が著しく変化する中 で、孤立しがちな親子を地域ぐるみで支える関係をつ くる	企画	公募＋ 選任	6	48	8
	家	八木山屋台村 「じいちゃん・ばあちゃんの知 恵袋」	世代間交流を目的とした伝承遊びの紹介と実技	講座		1	33	33
山田	民	ごみ減量作戦会議 —エコ生活改善を実現する—	市民参画講座 環境について学習し、エコ生活 を実現するための検討会を開催。	企画	公募	11	113	16
	青	ごみ減量作戦 「山田！どうした！エコだ！」	環境について自分達ができることは何かを考え意 識を高める機会を提供する(子供向け)	講座		2	51	30
	成	ごみ減量作戦 「みんなでやんねすか」	環境について自分達ができることは何かを考え意 識を高める機会を提供する(大人向け)	講座		3	40	18
茂庭台	民	「スポーツでコミュニケーショ ン」企画会	市民センター周辺のスポーツ広場や公園を使用して 気軽に参加ができるスポーツイベントを企画す る。「チャレンジ・ザ・ゲーム」を企画し開催した。	企画	公募	4	10	3
	地	チャレンジ・ザ・ゲーム	茂庭台地区の公園と市民センターを会場にスタン ブラリー形式で6種類のニュースポーツに挑戦しま した。	講座		1	47	47
	民	音楽のある街茂庭台 ふれあいコンサート企画会	「ふれあいコンサート」の開催に向けて、出演者募 集や調整などのコンサート企画を行なった。コンサ ート当日は会場設営・出演者のサポート受付・司会 などの運営を行なった。	企画	公募	10	70	7
	地	音楽のある街茂庭台 ふれあいコンサート	地域住民による企画。住民が気軽に音楽を楽しみ 交流できる「ふれあいコンサート」を開催した。地域 の音楽家の演奏や、いろいろなジャンルの音楽が 企画され、魅力あるコンサートが開催された。	講座		4	380	380
東中田	民	市民企画会議 「どれ、みんなで音楽会」	音楽会を開催することを目的として、企画員を公募 し、音楽界を企画し運営。企画員自身も演奏した。	企画	公募	8	45	8
	地	市民企画講座 どれ、みんなで音楽会／コ ンサート	市民企画会議「どれ、みんなで音楽会」で企画した コンサート。幼児から高齢者までが交流を図りなが ら音楽を楽しんだ。	講座		1	90	90
柳生	民	市民企画会議 「柳生・西中田再発見」	地域の活性化・地域人材の発掘・コミュニケーショ ン作りの活用・オリエンテーション・フィールドワークに よる情報収集・情報を活用した企画会	企画	公募	10	52	6
	地	市民企画講座 「地域から学ぶ昔・現在・未 来」	食から探る地域・地域の現在(いま)に歴史をみる・ 暮らしからみた地域・柳生界隈探訪	講座		3	76	26
秋保	地	秋保お助け隊 「井戸端サロン」	高齢者向けサロン活動などを支援する人のスキル アップを図り、又地域の中高年が持つ知恵と経験 と技能を地域で生かしてもらい研修、交流の場を 設け支え合い、助け合う地域づくりに役立てる。	講座		6	48	9
富沢	民	市民企画会 「子育てママのマイプラン」	子育てが楽しくなるような学習の企画を市民自らが 作りあげる為の企画会を実施し、子育て中でも地 域と関われる実践とする。	企画	公募	5	24	6
	家	「子育てママのマイプラン」 市民企画講座 みんなでまちをつくろう	チピツ夏まつりの「みんなでまちをつくろう」コー ナーを企画運営した。	講座		1	850	850
泉区 中央	民	学生企画会	大学生がアイデアを出し合い、地域の子どもも大 人も楽しめる企画を考えた。秋の子どもの日のイベ ントにつながった。	企画	公募	19	160	9
	青	むちゅー・ねっちゅー・いず ちゅークラブ	大学生が企画した様々な遊びの場を地域の子供 たちに提供し、ボランティアの協力のもと世代を超 えて交流した。	講座		1	185	185

根白石	民	市民企画会議 「暮らしみんなで助けし 隊」	地域の抱える問題を話し合い、自分たちにできるこ とを話し合った。	企画	公募	11	45	6
	民	市民企画講座 「暮らしお助けし隊～第1歩 は柿もぎから」	根白石地区では柿が木に取り残され、クマなどの 野生鳥獣を民家に近づける原因になっており、食 べ物を大切にしたいと言うことから、柿もぎを実 施し、渋抜きや干し柿づくりも体験した。	講座		4	41	15
南光台	民	市民企画会 「食で語るふるさと自慢」	様々な出身の「ふるさと自慢」をしながらそこから見 えてくる食の課題を企画として組み立てていく市民 企画講座の実施に向けての企画会議	企画	公募	7	22	4
	成	市民企画講座 とことんみやぎ自慢	宮城に伝わる郷土料理を実演形式で地元講師より 伝授してもらい、交流会を通し宮城の魅力を再発 見する機会と良さを再認識する	講座		1	16	16
黒松	民	市民企画 おしゃべりサロン	食育と仲間づくりを目的に、地域に活かした企画を 話し合う。【内容】食育講座の企画・検討会	企画	公募	6	23	4
	成	地産地消・食育講座 地元のお米を使ったかんた んレシピ	子育て世代がお米を使った料理づくりを通し、食 育・地産地消・食文化を見つめ直す一助とする。 【内容】地元のお米を使った料理づくり	講座		1	13	13
将監	民	市民企画講座 「わくわくママサロン」企画 会議	子育て中の母親のニーズにあった身近なテーマの 講座を企画・運営するために、企画会議を実施し た。講座の開催につながった。	企画	公募	7	21	3
	家	市民企画講座 「わくわくママサロン」	市民企画講座「わくわくママサロン」企画会議の中 で子育て中の母親が企画をし、子育て世代のニー ズを反映した講座を開催した。	講座		4	62	20
加茂	民	市民企画 in 加茂 (企画編)	地域の現状を把握し、課題の解決に向けた市民企 画委員会。地域の活性化の視点に立ち、市民自ら の手で企画立案。	企画	公募	6	40	8
	成	市民企画講座 「水の森公園の自然と自然 保護について考えよう」	水の森公園の自然保護活動をしている地域ボラン ティアからボランティア活動についての講話。水の 森公園の自然環境の話聞きながら、公園内の遊 歩道を散策	講座		1	14	14
	成	市民企画講座 「施設を訪ねて地域を知ろ う」	地域にある知的障害者施設を訪問し、施設見学と 利用者との交流会をし、一般の方々の施設利用や 施設に対してできるボランティア活動についての講 話を聞く	講座		1	18	18
高森	民	高森市民企画会議	職場体験で来館していた中学生も加わり、企画会 議を5回。高森の歴史を知って、自分の住んでいる 地域を身近かに感じて欲しいというねらいから「知 っておきたい高森の昔」講座(全2回)を実施。終了 後反省会。	企画	公募+ 推薦	7	20	4
	地	知っておきたい高森の昔	「高森市民企画会議」による実施講座。地元講師 による講話「水を得るための知恵と歴史」。3人の 高森在住者から「高森の昔はこうだった！」をテー マにトークと質疑応答を実施した。	講座		2	52	35
松陵	民	市民企画会 「子育てママのアイデア大 募集」	子育てに関する悩みや不安を持つ母親を支援する ため、解決に繋がる講座を企画する。	企画	公募	3	14	5
	家	ときめきタイム ～ママの心も体もキラキラ ～	子育て中の親の心身のリフレッシュを図ると共に同 世代の親同士の交流を兼ねて、子育て支援を目的 としたサークル活動へと促す。	講座		3	19	7
寺岡	民	市民企画講座 地域で減災を考える	地域課題解決に結びつく事業の企画 災害ボランティアコーディネーターの役割を学習	企画 講座	公募	10 1	40 13	4 13
長命ヶ 丘	民	環境講座を考える企画会	環境問題については地域や中学校でも関心が高 いので個人・家庭・地域で取り組み意識できる講座 を考える。	企画	公募	5	19	5
	成	マイ箸袋を作りましょう	再生利用で手持ちの布から簡単に作れて持ち歩い ても可愛い箸袋作りを体験し使用で環境にやさし い生活の一歩とする。	講座		1	18	18
松森	民	コンサートinまつり企画会	コンサートの企画会議・	企画	選任	4	12	3
	地	コンサート in まつり	ジャズコンサート	講座		1	154	154
桂	民	桂ロビーコンサート企画会 議	桂ロビーコンサートを企画する	企画	公募	5	22	7
	地	桂ロビーコンサート	桂ロビーコンサート企画会議結果、6回のコンサ ートを開催した。「音楽が生まれる街」をテーマに、声 楽・フルートの演奏会、ピアノ・ピアノの演奏会、ゴ スペルコンサート、バグパイプ演奏、ピアノ演奏等。	講座		6	553	553

南中山	民	学生市民企画検討会	学生市民企画講座を企画・運営するための検討会	企画	選任	10	94	10
	民	学生市民企画講座 「南中山まるごと紹介スライドショー2008」	南中山を紹介するスライドショーを公開し、意見交換を行い、問題点をまとめる。	講座		2	20	10
若林区 中央 (教育)	青	中高生企画会議「やってみっぺ」	区内の中・高校生10人程度の企画委員を公募し、月に1回程度の企画会議を開き、小・中・高校生を対象とした講座の企画・運営を行った。	企画	公募	6	24	6
	青	中高生企画講座 「やってみっぺ」	中高生企画会議「やってみっぺ」の企画委員が市民センター事業について企画会議を開き、その中から生まれた小・中学生を対象とした講座を実施した。	講座		3	33	32
太白区 中央 (教育)	成	インターナショナルわいわい広場企画会	地底の森ミュージアム外国語ガイド体験会募集チラシ作り・富沢遺跡保存館との情報交換ながまちおやこひろばの準備物確認	企画	選任	7	22	6
	成	インターナショナルわいわい広場	①地底の森ミュージアム外国語ガイド体験－富沢遺跡保存館において外国語でガイドをするボランティア体験会・交流会②ながまちおやこひろば－外国の子育て事情について情報交換会	講座		7	95	48
	民	地域が理解！キャリア教育って何？企画会	こどものまち in たいはつくる企画スタッフ会議 こどものまち in たいはつくる中学生・高校生スタッフ会議	企画	公募	7	86	27
	民	地域が理解！キャリア教育って何？	①大人もこどもも自分づくり－仙台市「自分づくり教育」について行政・保護者・企業・学校の意見交換。課題と解決策検討。②こどものまち in たいはつくる－地域で協力して子どもたちのキャリア教育を行った。	講座		2	231	223
	民	市民企画公募事業	平成21年度に市民センターと協働で実施する講座の企画を公募する。採用企画(1件)は魅力アップ懇話会委員とセンター長で構成する面接審査会により決定した。	企画	公募	1	19	19
	民	市民企画公募事業	「とことん伊達政宗研究会」では、企画員とともに、NPOなどの協力を得ながら、5回講座を計画、実施した。	講座		5	113	35
	民	市民企画公募事業	太白歴史塾「郡山遺跡を学ぶ」では、東北大学や東北学院大学の教授、市教委文化財課職員など、遺跡の調査・研究者を講師として講座を開催した。	講座		6	717	119
	民	IMAYO！！企画会	大学生の企画会議。大学への広報活動、地域の商店訪問、地域まつりの参加、仙台ジャズフェスでの講師交渉など。	企画	公募	16	68	10
	民	IMAYO！！	大学生の自主企画講座支援。大学生対象の料理講座、地域の大学生が伝統竹細工技術を学ぶ講座、子どもたちに竹とんぼ作りを教える講座、クリスマスコンサート、こどものまちなちのブースに参加した。	講座		5	433	433

【事業運営懇談会実施状況】

館名	事業名	事業の主な内容	実施日 期間	回数	参加 延人数	参加 実人数
青葉区 中央	青中懇談会	センター利用者や地域住民と、事業や地域活動の報告や情報交換	6月6日～ 3月5日	4	29	13
柏木	柏木市民センター 懇談会	市民センターやその主催する事業に対してそれぞれの立場から様々な意見や提案をいただき今後の事業運営に活かしていく。	2月20日	1	10	10
北山	懇談会「館長と語ろう」	1回目・生涯学習事業に対する要望や地域課題の発掘、情報交換。2回目・改築に伴う今後の説明や意見交換。	6月7日・ 12月6日	2	26	26
福沢	福沢地区子供会 交流会「地域で子供達を見つめよう」	子育て世代だけでなく、地域全体で子供たちを見守り地域を活性化する	2月28日	1	11	11
福沢	福沢市民センター 懇談会	よりよい市民センター運営のため学習課題や地域課題について意見や情報交換をする	5月17日～ 2月13日	2	12	7
旭ヶ丘	旭ヶ丘市民センター 懇談会	町内会、地域団体のメンバーに市民センター事業の紹介や利用状況の説明等を行いセンターへの理解・協力をすすめる、地域課題や人材についての情報・意見交換をし、共有した。	5月17日～ 11月15日	2	17	17

三本松	三本松地域懇談会	地域在住(5人)でセンターの講座の講師を実施した方々で、センター事業についての意見や地域の課題などについて懇談会を開催して意見、要望等を徴収した。	1月21日	1	5	5
片平	片平市民センター懇話会	市民センター運営についての意見交換。前年度の意見がいかに反映されたかの報告と、次年度事業についての意見聴取	4月23日 9月10日	2	22	7
水の森	水の森懇話会	地域課題を見極め、地域と共につくり上げるセンター事業について検討する。市民センター事業企画運営のための懇談	5月14日・ 11月21日	2	14	7
貝ヶ森	地域懇談会	地域代表者と学習ニーズの把握に努めるとともに地域課題の解決に向けて市民センター事業に対する市民参画を推進①20年度主催事業について説明②地域の情報交換、21年度主催事業について説明、意見を聞く	11月2日～ 3月11日	2	27	14
中山	中山地域懇談会	各種地域団体毎の懇談、市民センターのあり方や地域ニーズについての情報交換などを行う	10月8日～ 11月19日	4	25	25
折立	懇話会意見交換会	地域住民から地域課題や市民センター事業への意見を交換し、地域とのパートナーシップづくりに役立てた。	6月7日～ 2月21日	3	17	12
広瀬	ひろせ懇談会	センター事業や運営管理について事業企画に反映させるため、小・中学校PTA・町内会・社会学級・サークル代表・地域内公的施設等に意見を聴いた。	8月23日・ 11月29日	2	19	12
宮城西	宮城西地域懇談会	上愛子小学校区団体や地域団体などで地域のコミュニティーづくり、市民センターに望むこと、情報交換などが話し合われた	8月27日～ 3月7日	4	203	203
大沢	大沢地域懇談会	市民センターの役割・事業について理解を深めていただくと共に地域の皆様から市民センターに対する意見、要望等を聞く場とした。	12月6日	1	15	15
落合	落合地域懇話会	市民センターについての理解を深める場として地域の団体の代表者や利用者に集まっていただき、館長から生涯学習事業の報告等、また、地域の課題についても話を出していただいた。	3月6日	1	7	7
吉成	地域懇談会	一回目は、地域にてボランティア活動する団体および個人による懇談会。二回目は、主に吉成市民センターを活動の場として利用している団体との懇談会。	5月17日 2月14日	2	50	50
吉成	地域団体交流会	吉成地域を主に活動の場としている各種地域団体が一堂に会しての活動紹介と連携、人脈作りの機会の場作りを行う	6月25日	1	41	41
吉成	吉成地域団体懇談会	一回目は、吉成地域にて活動する団体で地域の防災について懇談。二回目は、同じく地域で、子育て支援活動をしている団体との懇談。三回目は、地域で、福祉活動をしている施設、団体との懇談をそれぞれ実施した。。	8月20日 8月27日 1月21日	3	40	40
木町通	木町通市民センター地域懇談会	情報交換、意見交換を行ない市民センター事業取り組みへの理解を図ると共に、地域ニーズを把握する	1月28日～ 3月18日	3	31	12
木町通	木町通地域懇談会「新しい地域作りを考える」	地域課題について情報交換、意見交換を実施	7月23日～ 11月13日	3	24	8
中央	中央市民センター事業運営懇談会	地域の団体や利用団体などから市民センターの運営や事業について意見交換した。	11月19日 2月28日	2	14	14
高砂	あなたの町と市民センター懇話会	鶴巻地区、甲区地区、中野新町地区、高砂地区の4ヶ所で、町内会をはじめとする地域の方々に呼びかけて懇話会を開催し、市民センターへの理解を深めてもらうと共に、地域ニーズを探り地域人材情報の収集を図る	6月8日～ 3月7日	4	70	70
岩切	岩切を良くしま専科～これからの岩切に求められることは？	地域住民やセンター利用のサークルが抱えている問題を討議した。	5月14日・ 21日・28日	3	22	11
鶴ヶ谷	地域懇談会	利用者・地域住民との地域課題解決に向けた情報・意見交換。市民センター事業への理解と協力をお願い。	6月7日～ 11月8日	2	60	30
榴ヶ岡	榴ヶ岡市民センター懇談会	市民センター事業活動状況の報告ののち、地域づくりや生涯学習事業の取り組み等についての意見交換を行った。	10月10日・ 11月21日	2	13	7
東部	東部市民センター懇談会	地域住民・団体からセンター事業への要望・地域課題を聞き、次年度の企画に向けて話合った。	4月25日～ 10月25日	6	48	35
幸町	懇談会	情報交換により、地域のニーズの把握、事業運営に反映させる	1月27日～ 2月7日	3	15	6
田子	田子市民センター懇談会	懇談会メンバーと市民センターによる定期的懇談会の	8月30日～ 3月11日	3	31	12
福室	地域懇談会	地域内の諸団体や学校などと広く意見交換し、地域課題やニーズをセンター事業に反映させ、事業方針を理解していただく場とする。	6月13日・ 11月5日	2	34	34
若林区中央	若林区中央市民センター事業懇談会「たんぼっ区懇話会」	地域住民とともに、より良い市民センター事業やその運営を考える機会とするため、直接区民と話し合う場を設け事業の評価、要望等についての意見交換を行う。	5月31日～ 3月14日	3	20	7
荒町	荒町事業運営懇談会	センターの事業運営をより良いものにするため、講座受講経験者や利用者を対象に意見交換・要望聴取、事業運営に就いての説明・協力要請などを行う。	6月11日～ 2月27日	4	25	12
六郷	市民センター事業懇談会	各層にわたる地域住民に対して、市民センターの運営方針や事業内容について理解を得ると共に、市民センターに対する意見や要望を聞き、これからの事業企画や運営に反映させ内容の充実を図る。	6月21日・ 12月5日	2	13	13

沖野	懇話会	地域ともに歩む市民センターをめざすことをねらいとし市民センター事業の説明と各団体代表との意見交換会	7月5日～ 1月24日	3	17	7
若林	若林地域懇話会	地域の学習ニーズや課題について話し合い市民センター事業運営に反映した。	5月～3月	5	52	24
太白区 中央	魅力アップ懇話会	地域の様々な団体の方々に委員に依頼した。センターの事業計画や事業報告・情報交換をおこなって提言をいただき次年度の事業に反映させた。	5月24日～ 12月20日	3	22	11
生出	生出市民センター 地域懇談会	市民センター事業への地域住民との意見交換の場を設けて、学習ニーズや地域課題を共有する。	12月25日	1	7	7
中田	地域懇話会	地域コミュニティの再生をめざすため、地域課題や地域資源などを事業に活かすための会議を開催する	5月17日～ 12月7日	2	11	6
西多賀	地域を結ぶ懇談 会	地域諸団体の代表と懇談会を持ち、地域の取り組みや課題への対応など地域の情報を収集した	9月5日・ 10日	2	13	13
八本松	市民懇話会 いいタウン八本松 を考えよう	八本松小学校区内の町内会と連携して、防災についての意見交換を行い、要支援者などの問題について課題を見出した。	11月14日・ 1月29日	2	43	31
八木山	八木山地域「気軽 に懇話会」	地域住民とフリートーク形式で懇話会を開き、地域のニーズ把握や意見交換の場とする	10月18日	1	2	2
山田	山田地域懇談会	市民センターの課題と対策、年間行事の振り返り。	7月26日～ 11月27日	2	12	6
茂庭台	子育て支援団体 交流会	茂庭台地区で子育て支援活動をしている団体、個人が集まり、活動内容の紹介及び情報交換を行なった。	1月24日	1	13	13
茂庭台	事業運営懇談会	19年度の懇談会の中で、焦点となった地域防災ネットワーク検討会も兼ねて実施、19団体が参加、各団体の被災時対応についての現状と課題の共通認識が出来た	11月28日	1	21	21
東中田	地域懇話会	町内会、学校、サークルなどの代表者が会し、地域の課題や情報を話し合い、その一部を次年度の事業企画に役立てた。	11月11日～ 11月21日	2	17	11
柳生	町内会交流会	市民センター・地域情報交換(主催事業について・地域行事・人材発掘・おまつりについて)	7月12日 3月21日	2	42	21
柳生	地域懇話会	管内各小学校(柳生・西中田)柳生中学校や地域団体との情報交換により課題の把握の場	9月18日	1	15	15
秋保	地域懇談会	秋保3地区(長袋、馬場、湯元)ごとにそれぞれの市民センターを会場に地域住民による懇談会を実施し、市民センター活動への理解を深めてもらい市民センターの活用、利用度アップ、事業のヒントを探る。	1月24日～ 3月2日	3	30	30
富沢	地域懇話会	地域課題や地域資源の情報を捉えるための懇話会を実施しセンター事業への理解をいただいた。	12月13日～ 2月14日	2	11	6
泉区 中央	泉中央懇話会	地域団体およびサークルの代表が学習課題・地域課題について意見交換し、サークル同士の交流活動につながった。	7月3日～ 10月9日	4	15	7
根白石	地域懇談会	地域住民との意見交換、情報収集などを行った。	7月8日・ 2月17日	2	28	14
南光台	市民センター懇談 会	センター利用者・町内会等地域団体との情報交換	6月21日～ 11月8日	4	38	19
黒松	黒松ほっとステー ション懇談会	地域の課題やニーズを収集し、地域に密着した事業展開を図る。【内容】地域の情報収集・事業の周知とセンターの機能・役割の説明	12月18日・ 2月26日	2	7	5
将監	将監懇話会	生涯学習についての要望や地域情報・地域課題について意見交換と講座についての意見交換を行った。	5月27日～ 6月17日	3	15	7
加茂	加茂地域各種団 体懇話会	地域の各種団体と市民センター事業や地域行事について意見交換。	1月20日	1	13	13
加茂	かもネットワーク懇 話会	社会学級など地域活動をしている団体の方々と市民センター事業や地域課題について意見交換	5月22日・ 2月5日	2	11	7
高森	地域懇談会	1回目は市民センター事業の現状報告、要望や参考意見をフリートークの形でヒヤリング。2回目はヒヤリングした結果をテーマ別に掘り下げて意見交換。3回目は意見交換した内容を次年度に活かすようまとめた。	8月30日～ 11月1日	3	23	11
松陵	地域づくり懇談会	地域の方の情報交換の場	8月29日～ 11月20日	4	27	7
寺岡	諸団体懇談会	地域の各団体の代表による話し合い	6月11日～ 1月8日	3	49	19
長命ヶ 丘	より元気な長命ヶ 丘を語る会	さまざまな年齢層の意見に耳を傾け熟年世代が生き活きとして地域づくりに参画できる方法を懇談会を通して把握し事業展開のヒントとする。	8月26日～ 9月12日	3	29	11
松森	松森鶴が丘懇談 会	利用団体から意見・要望を聞き取り団体の活性化を図り、地域を元気にする。	6月21日～ 2月4日	2	42	42
桂	桂地域懇談会	地域の諸団体の代表者と地域づくりについて意見を交換する	6月11日・ 19日	2	10	6
南中山	地域懇談会	地域課題についての意見交換や情報交換	7月12日～ 3月14日	4	42	42